

岐阜県立国際園芸アカデミー

令和6年度 自己評価報告書

－ 資料編 －

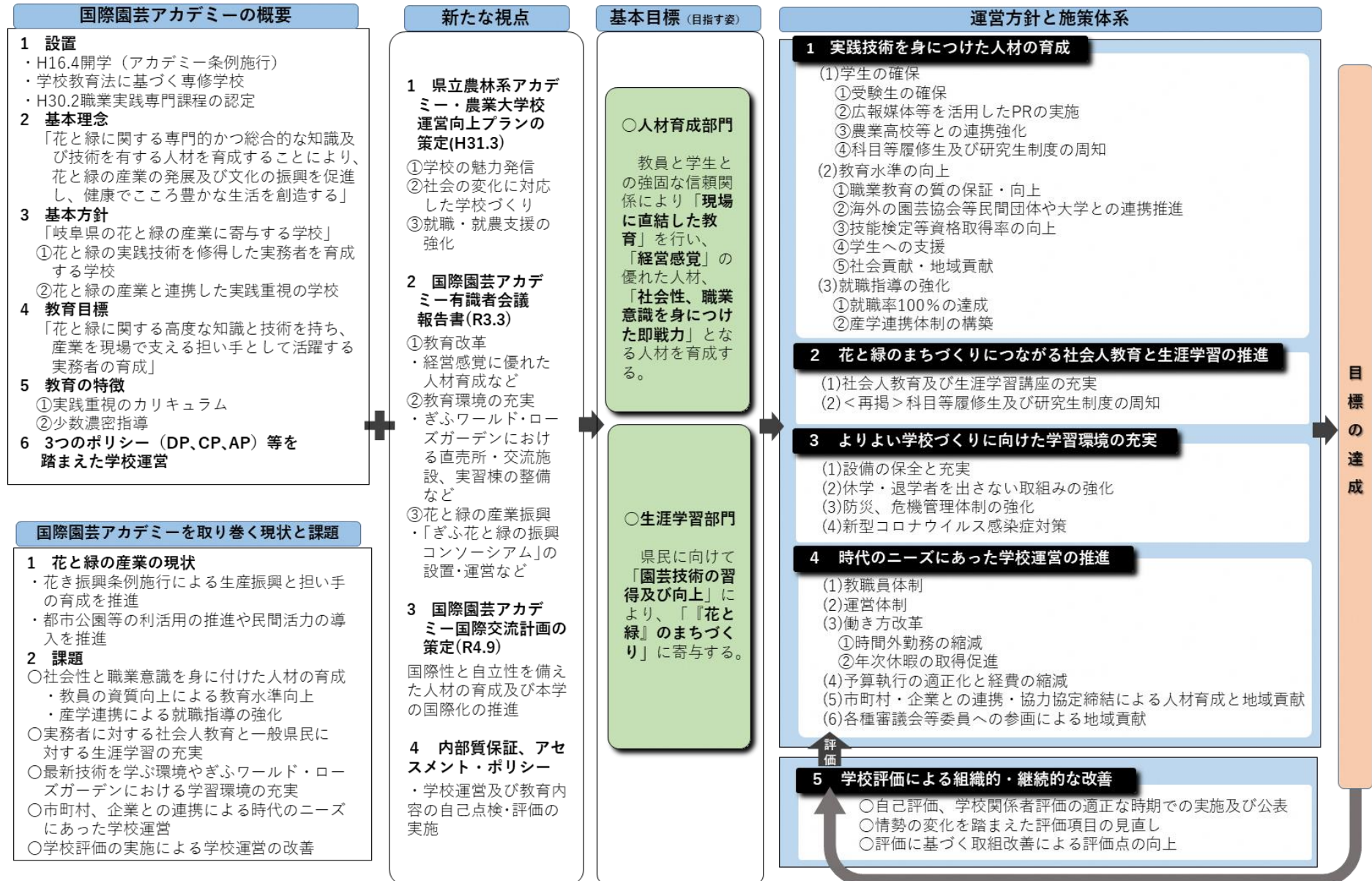
令和7年3月

目 次

1 教育理念・目標	
資料1-1 国際園芸アカデミー運営計画の概要	1
資料1-2 3つの方針(DP、CP、AP)	2
資料1-3 SDGs推進の基本方針	3
2 学校運営	
資料2-1 令和6年度国際園芸アカデミーの所属目標	4
資料2-2 令和6年度「運営計画」目標指標に対する実績	5
資料2-3 教職員体制図	7
資料2-4 委員会、会議等	7
資料2-5 学内組織の詳細	8
資料2-6 産学官との連携	11
資料2-7 連携・協定締結自治体・企業との取組み	16
資料2-8 教員の研修	19
資料2-9 開学20周年記念事業	23
3 教育活動	
資料3-1 学生の授業評価アンケート結果	24
資料3-2 主な学校行事等	30
資料3-3 各種発表会・報告会	31
資料3-4 インターンシップ実施状況	33
資料3-5 海外視察研修	34
資料3-6 特別講座	35
資料3-7 実践教育フィールドの活用実績(ぎふワールド・ローズガーデン内)	36
4 学修成果・教育成果	
資料4-1 進路の状況(令和6年度卒業生)	37
資料4-2 卒業時の進路の状況(令和6年度卒業生までの累計)	38
資料4-3 資格の取得状況	39
資料4-4 競技大会・コンペティション等の参加状況	40
資料4-5 入賞・表彰等の状況	40
5 学生支援	
資料5-1 奨学金等の状況	41
資料5-2 寄付金、寄付物品	43
資料5-3 休学者・退学者数、進級者数	43
資料5-4 卒業生及び同窓会との連携	44
6 教育環境	
資料6-1 施設・備品の整備改修	45
7 学生の受入れ募集	
資料7-1 広報活動状況及び学生募集活動状況	46
資料7-2 入学試験の実施状況	51
資料7-3 学生の入学・卒業状況	52
8 教育の内部質保証システム	
資料8-1 内部質保証の基本方針及び実施体制	53
資料8-2 アセスメント・ポリシー	54
9 財務	
資料9-1 収入と支出の状況	57
10 社会貢献・地域貢献	
資料10-1 花と緑の連携授業	58
資料10-2 生涯学習講座	59
資料10-3 ボランティア活動	60
11 国際交流	
資料11-1 国際園芸アカデミー国際交流計画の概要	61
資料11-2 国際交流の実績	62

資料1-1

「国際園芸アカデミー運営計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）の概要



資料1-2 3つの方針(DP、CP、AP)

本学の基本理念である「花と緑に関する専門的かつ総合的な知識及び技術を有する人材を育成することにより、花と緑の産業の発展及び文化の振興を促進し、健康でこころ豊かな生活を創造する」に基づく充実した教育活動を展開することにより、生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り拓いていく人材を育成するため、3つの方針を定めている。

卒業の認定に関する方針：DP（ディプロマ・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、次の資質・能力を身に付けた学生に対して卒業を認定し、「専門士（園芸系専門課程）」の称号を授与します。

- ① 幅広い教養を身に付け、広い視野に立ち、物事に対して公正な判断をすることができる。
- ② 幅広い専門的知識と創造的な技能、優れた経営感覚を身に付け、社会における諸問題の解消のためにその知識・技能を活用することができる。
- ③ 社会における課題探求と問題解決の能力を修得し、主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、ともに成長することができる。

教育課程の編成・実施に関する方針：CP（カリキュラム・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、教育目標を達成し、称号授与方針に示す資質・能力を身に付けさせるため、次のような教育課程を編成し、実施します。

- ① 教育課程において、基礎教育科目、専門教育科目、応用教育科目、研究教育科目を段階的に学習できるよう体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を実施することにより、専門分野の知識・技能を確実に修得し、問題解決のために活かすことができるようにする。
- ② 演習や実習科目を中心に能動的学習要素を取り入れることにより、生涯にわたって主体的に学び、他者との相互理解や意見交換ができるようにする。
- ③ 学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、学習行動調査や国際的な評価制度（GPA）の導入、修得時間数に基づく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。
- ④ 開講科目については、シラバスにより授業計画、学習到達目標、成績評価基準などを明確にし公表する。

入学者の受け入れに関する方針：AP（アドミッション・ポリシー）

国際園芸アカデミーは、高等学校等における学習を通じて、次のような資質・能力を身に付けている人を受け入れます。

- ① 専門学校での学修の基礎となる高等学校における各教科の基本事項を修得している。
- ② 学修成果を社会で活かすという目的意識がある。
- ③ 専門学校在学中だけでなく、卒業後も学び続ける意欲がある。
- ④ モラルがあり、基本的な態度や礼儀（言動や身だしなみなど）が身についている。
- ⑤ 基本的な生活習慣（体調管理、時間管理など）が身についている。
- ⑥ 他者を思いやり、協調性を重んじる人。

※3つの方針を定め、公表することは、大学においては学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）により義務となっている。本学は専修学校であり義務となっていないが、体系的で組織的な教育活動等を展開する上で重要な役割を担うものであり、大学に準じて定め、公表している。

資料 1-3 SDGs 推進の基本方針

1. 岐阜県立国際園芸アカデミーがSDGs 達成に向けて貢献できること

気候変動の進行による自然災害の多発化、生物多様性の喪失、飢餓や貧困問題など、世界では、様々な問題に直面しています。

それらの問題の解決に向けて、2015 年には、国際社会共通の目標として、2030 年までに達成すべき 17 の項目、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」が定められました。これは、遠い世界の出来事ではなく、日本の私たちの生活にも深く関わっています。これからの時代に向けて、岐阜県立国際園芸アカデミーは、SDGs 達成に向けて、どのような貢献ができるかを考えています。

2. 岐阜県立国際アカデミーの強み

岐阜県立国際園芸アカデミーは、2004 年の開学以来、「花と緑の空間づくり」による健康で心豊かな生活の創造に向けて、生産、装飾、造園緑化の各分野について幅広い知識と実践技術の習得し、持続可能な社会の構築に向けて教育を行ってきました。また、それらの実践を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

3. 岐阜県立国際アカデミーがSDGs 達成に向けて進める 3 つの方針

岐阜県立国際園芸アカデミーは、3 つの方針を立て、このSDGs を達成していきます。

第一は、「花と緑」の教育を通じて、幅広い専門的知識と創造的な技能、優れた経営感覚を身に付け、SDGs 達成に向けて、その知識と技能を活用してこれからの持続可能な社会の構築に向けて活躍する人材の育成を行うことです。

第二に、社会における課題探求と問題解決の能力を修得し、SDGs 達成に向けた実践活動を岐阜県内外で行い、地域の環境改善活動に寄与することです。

第三に、学校運営や組織管理において、人材の多様性の尊重、環境負荷を低減するキャンパス運営を行い、幅広い分野でSDGs を達成します。

資料2-1

令和6年度 国際園芸アカデミーの所属目標

★印: 新規 ☆印: 拡充

人材育成部門	1 学生の確保 【目標値】 1学年定員20人の確保 ①受験生の勧誘 ・県内外の高校訪問の実施及び県内高校進路ガイダンスへの参加 ・体験型オープンキャンパスや学校見学会の開催による魅力発信 ②学校PR・情報発信の強化 ・ホームページやSNS等へのトピックス・ブログの掲載及び動画配信 ・入学式や卒論発表会等をライブやアーカイブにより配信 ③農業高校との連携強化 ☆・花と緑の業界が本学で実施する特別講座等への農業高校関連学科生徒の参加 ・県内外の高校との「花と緑の連携授業」の実施	
	2 教育水準の向上 【目標値】 資格取得に係る合格率 100% ①職業教育の質の保証・向上 ・アセスメント・ポリシーに基づく学修成果の適切な評価と改善の実施 ・最新技術習得と人的ネットワーク構築に向けた教員企業研修の実施 ②ぎふワールド・ローズガーデン花トピアにおける授業の実施 ★・新たに花トピアを活用した展示・販売実習等の開始による実践教育の強化 ③国際交流計画に基づいた海外教育機関等との連携 ・海外の教育機関等との相互交流実施に係る調査・連携 ・留学生受け入れに係る国内の大学等との情報交換の推進 ④技能検定等資格取得率の向上 ・非常勤講師による資格取得授業の充実及び連携企業が開催する技術研修への参加 ⑤学習意欲の向上に繋がる学生への経済的支援 ★・新たな奨学金制度の設置・運用と寄附による教育資材等の活用	
	3 就職指導の強化 【目標値】 就職希望者の就職率 100% ①就職希望者全員の就職達成 ・卒業生が活躍している企業等でのインターンシップの実施 ・卒業生から学ぶ「花と緑の意見交換会」や「企業説明会」の開催 ・入学時からの計画的な個別面談による進路指導の実施 ②産学連携体制の構築 ・魅力ある就職先拡大につながる花と緑の関連企業との共同研究の実施 ☆・花と緑の業界と連携したキャリア教育講座（特別講座）の開催	
	4 社会人教育・生涯学習の場の提供 【目標値】 生涯学習講座数 23講座 生涯学習部門 ①本学主催「生涯学習講座」の開催 ☆・夏休みにおける親子体験講座や大人向けの実習講座等の拡充 ★・ぎふワールド・ローズガーデン指定管理者や花と緑の関連業界と連携した講座の開催 ★・「全国緑化ぎふフェア」を契機としたぎふグリーン・ライフ推進員養成講座の開設 ②連携・協力協定締結自治体との取り組み ・自治体が主催する市民講座やまちづくり活動への講師の派遣 ③科目等履修生、研究生制度の周知 ・卒業生、社会人、業界関係者等に向けた制度の積極的な周知	
	5 よりよい学校づくりに向けた取り組み 【目標値】 学生要望に基づく学習環境改善 1件以上 連携・協力協定締結先との取組数 60取組 次期「運営計画」の策定 ①学生の抱える不安や悩みに応える取組の強化 ・スクールカウンセリングによる学生相談の実施 ☆・学生要望調査や「声のポスト」による学習・学校生活環境の改善 ・学生生活や進路について家族に情報提供する「個別相談会」の開催 ②地域社会と繋がる様々な課外活動への参加支援 ・花いけバトル等のイベントや地域における花育・ワークショップ等ボランティア活動への学生の自主的な参加をバックアップ ③連携・協力協定締結先との取り組みの推進 ・産業振興、環境保全、景観まちづくりなど地域課題への助言 ④学校評価の実施 ・「内部質保証推進委員会」と「自己点検・評価委員会」による自己評価及び改善計画の作成・実行による教育・研究の質の保証 ・学校関係者評価委員会の開催及び学校評価の公表 ⑤運営計画に基づく学校運営 ★・現行「運営計画」の総括及び次期「運営計画」の策定 ⑥開学20周年記念事業の実施 ★・開学20周年記念式典の開催及びホームページ開学20周年特設サイトの開設による学校の認知度向上 ⑦経費の節減及び「働き方改革」の推進 ・光熱水費、コピー枚数等の節減と時間外勤務の縮減及び年次休暇の取得促進	

資料2-2

「国際園芸アカデミー運営計画」目標指標
進捗管理表(令和6年度 実績)

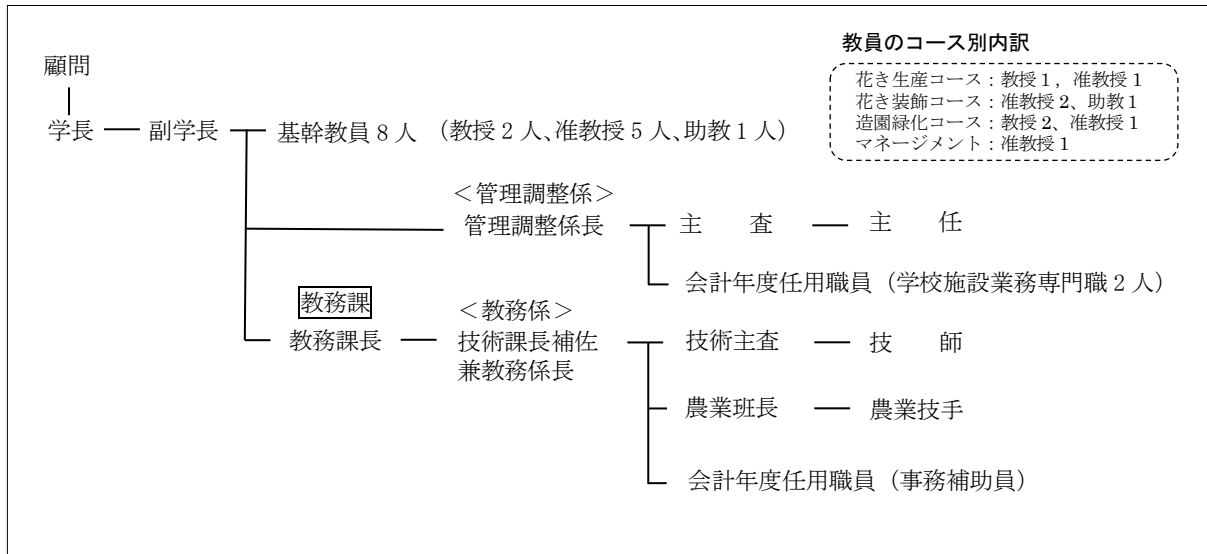
令和7年3月

目標指標		基準値	区分	暫定目標				目標年度	
		令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1 実践技術を身に付けた人材の育成									
1	オープンキャンパス、学校見学会の開催日数	11日間	目標値	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	毎年度14日間以上	14日間以上	
			実績値	12日	15日※（動画配信含）	15日	14日	14日	
			達成率	86%	100%	100%	100%	100%	
	2 資格取得に係る合格率								
	造園：2級造園技能士実技	86%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	造園100%	
			実績値	67%	60%	100%	25%	50%	
			達成率	67%	60%	100%	25%	50%	
		装飾：2級フラワー装飾技能士実技	100%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	装飾100%
				実績値	100%	50%	100%	100%	91%
達成率				100%	50%	100%	100%	91%	
卒業時アンケート結果 自己評価3.5以上（5点満点中）の学生数の割合 ※令和4年度から目標指標変更	70% （令和4年度）	目標値			80%以上	80%以上	80%以上		
		実績値			70.0%	80.0%	77.3%		
		達成率			88%	100%	97%		
4 就職希望者の就職率	100%	目標値	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	毎年度100%	100%		
		実績値	100%（21人）	93%（14人）	100%（20人）	89%（16/18人）	100%（21人/21人）		
		達成率	100%	93%	100%	89%	100%		
2 花と緑のまちづくりにつながる社会人教育と生涯学習の推進									
5 生涯学習講座開催数	33講座 （H27～R元計）	目標値	8講座	16講座（累計）	24講座（累計）	32講座（累計）	40講座（R2～R6計）		
		実績値	8講座	17（R3:9）講座	25（R4:8）講座	33（R5:8）講座	40（R6 7講座）		
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%		
6 社会人教育（実務者向け）講座開催数	9講座 （H27～R元計）	目標値	5講座	10講座（累計）	15講座（累計）	27講座（累計）	40講座（R2～R6計）		
		実績値	5講座	14（R3:9）講座	25（R4:11）講座	37（R5:12）講座	57（R6 20講座）		
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%		
7 受講者アンケート結果 「十分満足」、「満足」の満足度	平均84.7% （H27～R元平均）	目標値	90%	90%	90%	90%	90%以上		
		実績値	93.9%	95.5%	93.0%	95.2%	95.3%		
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%		

－ 2 学校運営 －

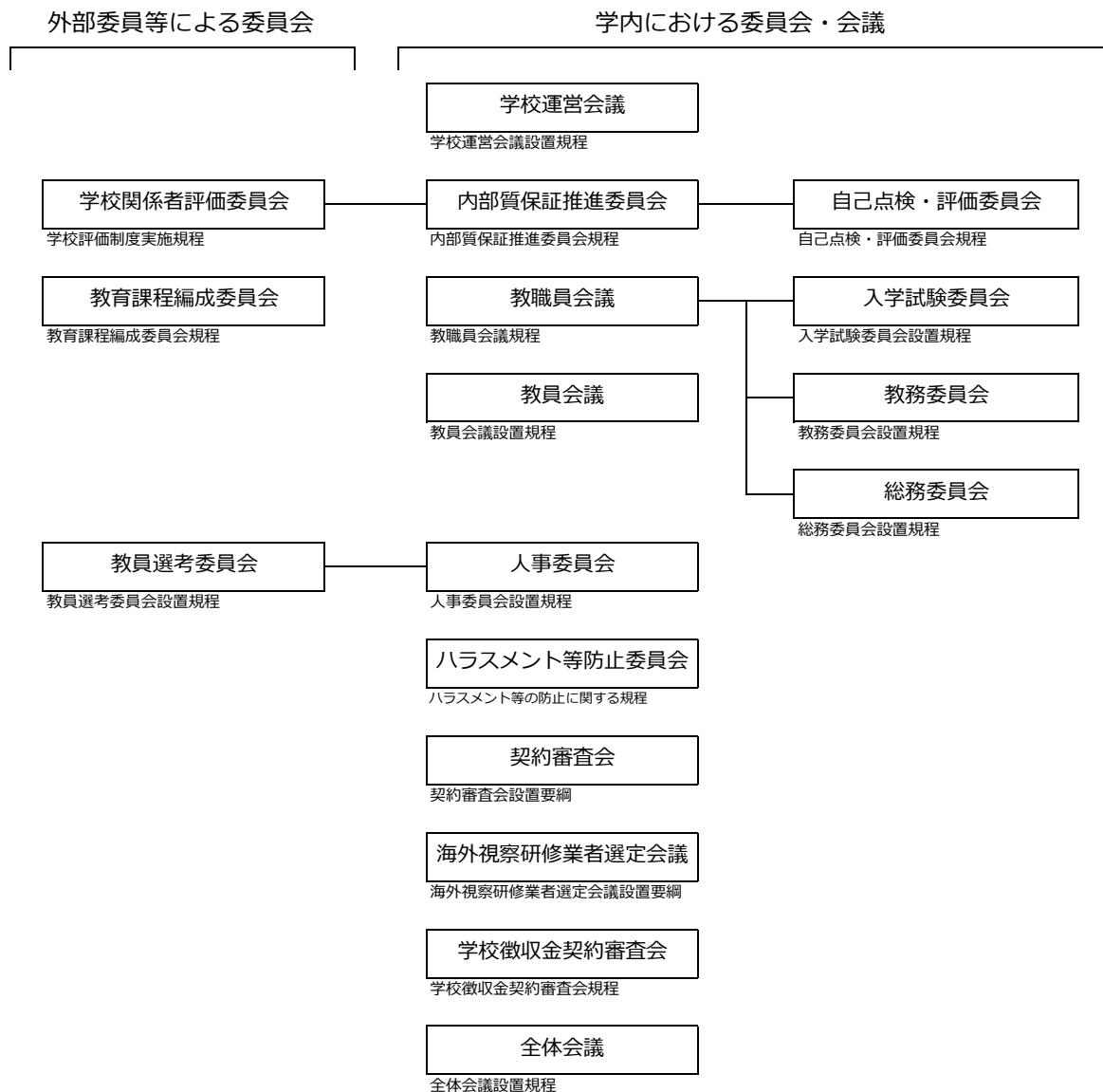
3 よりよい学校づくりに向けた学習環境の充実								
8	オンライン授業等が実施できる環境整備	未整備	目標値	○Wi-Fi環境整備 ○タブレット端末購入	○新1年生、新2年生へのタブレット端末配布 ○授業のライブ配信、撮影済み授業（授業制作）の配信など、本格運用の開始 ○端末等の維持管理	○新1年生へのタブレット端末配布 ○授業のライブ配信、撮影済み授業（授業制作）の配信など、本格運用 ○端末等の維持管理	○新1年生へのタブレット端末配布 ○授業のライブ配信、撮影済み授業（授業制作）の配信など、本格運用 ○端末等の維持管理	Wi-Fi環境整備、タブレット端末購入・配布、授業制作など本格運用中
			実績値	○Wi-Fi環境整備（アクセスポイント13箇所） ○タブレット端末購入（45台） ○ウェアラブルカメラ購入 ○Webカメラ購入	○タブレット端末配布 ○本格運用 ○端末等の維持管理 ○タブレット端末購入（3台）	○タブレット端末配布 ○本格運用 ○端末等の維持管理 ○タブレット端末購入（3台）	○タブレット端末配布 ○本格運用 ○端末等の維持管理 ○タブレット端末修理（4台） ○キーボード修理（6台） ○花びアネットワークの整備	○校内Wi-Fi活用中 ○タブレット端末活用中 ○端末等の維持管理 ○キーボード修理（4台） ○花びアネットワークの活用
			達成率	100%	100%	100%	100%	100%
9	ドライミスト整備温室数	0温室	目標値	2温室整備	4温室整備(累計)	6温室整備(累計)	8温室整備(累計)	8温室（R2～R5計）
			実績値	2温室整備（2号・7号温室）	4温室整備(累計)（1号・4号温室）	6温室整備(累計)（3号・9号温室）	7温室整備(累計)（8号温室）	8温室整備（累計）（6号温室）
			達成率	100%	100%	100%	88%	100%
10	学生アンケートにより要望のあった学習環境整備の対応数	－	目標値	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	毎年度1つ以上の整備	5整備（R2～R6計）
			実績値	2整備 ・トイレ洋式化(4基) ・Wi-Fi環境整備	3整備 ・扇風機整備 ・時計修理 ・自販機の追加	・トイレに消音装置 ・浄水器の設置 ・更衣室の扇風機に延長コード設置	・交通安全看板、照明設置 ・トイレ手洗いの修繕 ・熱中症指数計の導入	・パソコンの更新 ・駐輪場の利用改善 5年間整備数計：13
			達成率	100%	100%	100%	100%	100%
4 時代のニーズにあった学校運営の推進								
11	市町村、企業との連携・協力協定締結数	6協定	目標値	7協定（累計）	8協定（累計）	9協定（累計）	10協定（累計）	11協定
			実績値	8協定（累計）	8協定（累計）	8協定	8協定	7協定
			達成率	100%	100%	89%	80%	63%
12	連携・協力協定締結先との取組数	－	目標値	25取組	55取組（累計） 30取組（単年度）	90取組（累計） 35取組（単年度）	140取組（累計） 50取組（単年度）	200取組（R2～R6計）
			実績値	27取組	66(R3:39)取組	106(R4:40)取組	148(R5:42) 取組	203(R6:55) 取組
			達成率	100%	100%	100%	100%	100%
13	業界と連携した新商品等の研究開発に係る取組数	－	目標値	3取組	6取組（累計）	9取組（累計）	12取組（累計）	15取組（R2～R6計）
			実績値	3取組	8(R3：5)取組	13(R4：5)取組	18(R5：5)取組	24（R6：6）取組
			達成率	100%	100%	100%	100%	100%
5 学校評価による組織的・継続的な改善								
14	学校関係者評価委員会の適切な開催と公表	7月開催、9月公表	目標値	評価対象：令和2年度 R3.7月開催 R3.9月公表	評価対象：令和3年度 R4.4月開催 R4.5月公表	評価対象：令和4年度 R5.4月開催 R5.5月公表	評価対象：令和5年度 R6.4月開催 R6.5月公表	評価対象：令和6年度 R7.4月開催 R7.5月公表
			実績値	5/31開催、7月公表	5/26開催、6月公表	6/2開催、6月公表	5/31開催、6月公表	6/4開催、6月公表
			達成率	100%	0%	0%	0%	0%
15	学校関係者評価での評価値	平均評価値3.27	目標値	平均評価値3.4	平均評価値3.5	平均評価値3.6	平均評価値3.7	平均評価値3.8
			実績値	平均評価値3.37	平均評価値3.45	平均評価値3.60	平均評価値3.64	
			達成率	99%	99%	100%	98%	

資料2-3 教職員体制図 （令和 6 年度）



資料2-4 委員会、会議等

令和6年度 各種委員会・会議組織図



資料 2-5 学内組織の詳細

(1) 各種委員会等の構成員 (令和 6 年度)

委員会等名称 ※ () は庶務又は事務局	代表者又は 主 宰 者	構 成 員
学校運営会議 (教務課)	学 長	学長、副学長、臼田教授、相田教授 教務課長
全体会議 (管理調整係)	学 長	全教職員
教職員会議 (管理調整係)	学 長	学長(議長)、副学長、基幹教員 教務課長、教務係長、管理調整係長
教員会議	臼田教授	臼田教授(議長)、相田教授、佐藤准教授 吉田准教授、前田准教授、新井准教授、林准教授 村瀬助教
入学試験委員会 (教務係)	学 長	学長(委員長)、副学長 臼田教授、相田教授 教務課長、教務係長、教務係担当
教務委員会 (教務係)	臼田教授	臼田教授(委員長)、佐藤准教授(副委員長) 新井准教授、林准教授、村瀬助教 教務係長、教務係担当
総務委員会 (教務係)	相田教授	相田教授(委員長)、佐藤准教授(副委員長) 吉田准教授、前田准教授 教務課長、管理調整係長、教務係担当
ハラスメント等防止委員会 (教務課)	学 長	<防止委員会> 学長(委員長)、副学長(副委員長) 臼田教授(学科主任)、吉田准教授(女性教職員) 教務課長 <相談窓口> 総括相談員：相田教授(総務委員長) 相 談 員：佐藤准教授(総務委員) 吉田准教授(女性教職員)
教員選考委員会 (教務課)	農政部長	農政部長(委員長)、農政課長、農産園芸課長 学長、副学長、臼田教授、相田教授
人事委員会 (教務課)	学 長	学長(委員長)、副学長、臼田教授、相田教授 教務課長
契約審査会 (管理調整係)	学 長	学長(会長)、副学長(副会長)、臼田教授 教務課長、管理調整係長
海外視察研修業者選定会議 (管理調整係)	学 長	学長(議長)、副学長(副議長)、教務課長 引率教職員、管理調整係長
学校徴収金契約審査会 (管理調整係)	学 長	学長(会長)、副学長(副会長) 臼田教授(学科主任)、教務課長、学生会代表

(2) 教務・総務委員会における業務分掌 (令和6年度)

【教務委員会】

役割 (担当項目)	分 掌 事 務	主 任	副主任
委 員 長：臼田教授	委員会業務総括・管理		
副委員長：佐藤准教授	委員長の補佐		
	1 シラバスの編成	佐藤准教授	臼田教授
	2 時間割の調整	村瀬助教	佐藤准教授
	3 授業評価	新井准教授	臼田教授
	4 進路指導	佐藤准教授	臼田教授
	5 企業説明会	佐藤准教授	林准教授
	6 インターンシップ報告会	新井准教授	林准教授
	7 卒業研究・卒業制作	林准教授	臼田教授
	8 海外研修報告会	林准教授	新井准教授
	9 生涯学習講座の企画	村瀬助教	林准教授
	10 花と緑の意見交換会	佐藤准教授	新井准教授
	11 岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会	臼田教授	村瀬助教
庶務担当	1 委員会の庶務	教務係担当	

【総務委員会】

役割 (担当項目)	分 掌 事 務	主 任	副主任
委 員 長：相田教授	委員会業務総括・管理		
副委員長：佐藤准教授	委員長の補佐		
	1 学校主要行事の企画・実施 (1) 活動成果報告会 (2) 教員企業研修報告会 (3) 個別相談会	吉田准教授 佐藤准教授 佐藤准教授	佐藤准教授 前田准教授 相田教授
	2 広報パンフレット作成	相田教授	吉田准教授
	3 学校ホームページ更新	佐藤准教授	相田教授
	4 オープンキャンパス・学校説明会	吉田准教授	前田准教授
	5 施設・備品の整備・管理	佐藤准教授	前田准教授
	6 環境美化・エリア管理	佐藤准教授	相田教授
	7 図書収集・管理	佐藤准教授	相田教授
	8 学生会活動・課外活動	佐藤准教授	吉田准教授
	9 同窓会との連携・調整	前田准教授	佐藤准教授
	10 農業高校との交流活動	前田准教授	吉田准教授
	11 ボランティア活動の推進	吉田准教授	相田准教授
庶務担当	1 委員会の庶務	教務係担当	管理調整係長

(3) 学科主任、学年主任 (令和6年度)

学科主任	1 学年主任		2 学年主任
	前 期	後 期	
臼田 教授 (教務委員長)	相田 教授 (総務委員長)	臼田 教授 : 花き生産コース 吉田 准教授 : 花き装飾コース 相田 教授 : 造園緑化コース	

○ 外国人留学生の生活指導担当者

担当	担当者	備 考
主 任	相田 教授	1 学年主任 (前期)、造園緑化コース主任
副主任	佐藤 准教授	総務委員会副委員長

(4) 生涯学習部門主任 (令和6年度)

教務課長

資料2-6 産学官との連携 (令和6年度)

(1) 企業・団体

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(花き生産)	株式会社ハクサン	企業訪問（園芸品種・資材開発等の情報収集） (7/29)	臼田 前田
	岐阜花き流通センター 農業協同組合 (北方町)	花き就農応援隊現地研修会 (7/8)	臼田 前田
		春の内覧会 (2/21)	前田
	岐阜生花市場協同組合（岐阜市）	花き就農応援隊現地研修会 (7/8)	臼田 前田
	株式会社岐孝園 (本巣市)	花き就農応援隊現地研修会 (7/8)	臼田 前田
	本巣郡花き振興会	第37回本巣郡花き振興会通常総会 (8/5)	学長
	ぎふ花と緑の振興 コンソーシアム	通常総会及び交流会(5/23)	副学長
(花き装飾)	日本フラワーデザイナー協会岐阜県支部	花育講座：恵那市立長島小学校（11/6） 可児市立帷子小学校（12/10）	村瀬
(造園緑化)	関ヶ原ゼネラル・サービス（株）	関ヶ原開戦地景観整備事業連携 フジバカマの定植（4/20）	前田
		「フジバカマを収穫してフジバカマスワッグを作ろう」教室(11/4)	前田
	ヤハギ緑化(株)	寄附受納（9/18） 寄付に対する感謝状の贈呈（3/19）	学長
		SDGs AICHI EXPO 2024 出展 (西垣林業株式会社、豊田高等職業訓練校) (10/9-12)	学長 新井
		学生との意見交換 (11/28)	新井
	西垣林業株式会社	SDGs AICHI EXPO 2024 出展 (10/9-12)	学長 新井
		緑の環境プラン大賞ウッドデッキ製作・設置 (3/9)	新井
	可児市建設業連合会 可児造園協同組合	総会、寄附受納・感謝状の贈呈（5/20） 初夏のロードプレーヤー（6/15） 秋のロードプレーヤー（11/16）	学長 新井
	(公社)日本造園学会	日本造園学会全国大会 (6/14～16)	学長 相田
		日本造園学会中部支部大会 (12/14-15)	相田
	日本公園施設業協会 中部支部	理事会 (6/21)	学長
	(一社)公園管理運営 士会中部支部	総会 (6/25)	学長

－ 2 学校運営 －

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(造園緑化)	(一社)愛知県造園建設業協会	総会、第 19 回造園デザインコンクール表彰式 (5/29)	新井
	(一財)日本公園緑地協会	理事会 (4/30, 10/11, 3/17) 大会 (5/24, 25)	学長
	一造会 (1 級造園施工管理技士の会)	令和6年度事業報告会 (12/6) 幹事会 (1/28, 2/25)	学長
	(一財)日本造園修景協会	2025 年新年造園人の集い (1/7)	学長
	(一財)日本造園修景協会東海支部	役員会 (6/12) 総会 (7/11)	相田
	(一社)日本造園建設業協会	協会派遣講師による「造園業における働き方出前講座」(1/27)	顧問 学長
(園芸福祉)	けやき可児	園芸福祉の実践連携 (10/21, 10/30)	相田
(その他)	可茂地区指導農業士会	通常総会 (5/2)	副学長
	岐阜県指導農業士連絡協議会	第 48 回岐阜県指導農業士連絡協議会通常総会 (5/24)	副学長

(2) 教育機関

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(大学)	岐阜大学 応用生物科学部	岐阜県域農林業教育システム連携協力会議 (第29回：6/14, 第30回：10/7)	学長
		第12回岐阜県域農林業教育システム研究発表 交流会 (1/25)	学長 臼田 前田
(高校)	加茂農林林高校	なんじゃ祭出店 (6/8)	吉田
		アカデミー学校説明会 (概要説明、施設案内) (5/13, 10/2, 1/27)	教務係
		(一社) 日本造園建設業協会出前講座 (1/27)	学長 新井
		地域産業の担い手育成協議会 (委員) (7/9, 2/17)	副学長
(高校)	恵那農業高校	アカデミー学校説明会 (概要説明、施設案内) (10/2)	教務係
		学校運営協議会 (6/10, 11/23)	臼田
(高校)	郡上高校	アカデミー学校説明会 (概要説明、施設案内) (6/26)	教務係
		農業の現場を学ぶ出前講座 (学校パンフレット提供) (1/30)	教務課
		学習成果報告会 (2/27)	前田
(高校)	岐阜県内 7 農業高校 (岐阜県農業大学校)	緑の学園 (農業高校2年生に対する進路紹介) (9/10)	学長 各コース 教員
(高校)	岐阜県下農業高校	第75回岐阜県学校農業クラブ連盟県大会 (意見発表会) 審査員 (7/3)	副学長
(高校)	愛知県立猿投農林高校	愛知県立猿投農林高校PTA学校見学 (10/9)	学長 前田
(高校)	鳥取県立鳥取湖陵高校	学校見学、本学の教育活動について (12/10)	伊藤
(高校)	大阪府立園芸高校	学校見学 (教員) (3/31)	学長 コース教員
(農業大学 校)	岐阜県農業大学校	授業『経営設計 (園芸)』非常勤講師 (5/16, 5/23, 6/11, 6/26)	佐藤
		アカデミー学生、教員の農大圃場視察 (5/24)	前田
		農大生によるなんじゃ祭での野菜販売 (6/8)	佐藤
		アカデミー学生による農大祭での花苗等販売 (11/3)	前田 佐藤
		成果発表会 (2/7)	伊藤

(3) 行政機関等

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(審議会・委員会)	第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会	第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会第2回総会 (4/23)	学長
		第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会第3回企画委員会 (8/26)	学長
	岐阜県	第20回岐阜県都市公園活性化懇談会 (8/26)	学長
	岐阜県	令和6年度第1回岐阜県百年公園運営協働会議 (7/16)	学長
	岐阜県	令和6年度第2回ぎふワールド・ローズガーデン「運営協働会議」 (1/17)	学長
	岐阜県	ぎふ清流里山公園運営協働会議 (1/30)	相田
	岐阜市	岐阜市柳ヶ瀬広場整備事業実施設計業務委託事業者審査委員会 (8/2, 9/20)	学長
	大野町	第4回大野町公園等再生計画検討委員会 (4/23, 6/27, 8/23)	学長
	各務原市	木曽川前渡南公園（わたしのPARK）完成式典 (12/14)	学長
		各務原市景観委員会 (5/27)	相田
	名古屋市	名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業有識者モニタリング（第5回） (1/14)	学長
	一宮市	一宮市緑の基本計画改定委員会 (12/13, 2/14)	学長
	岡崎市	岡崎中央総合公園指定管理者候補者選定委員会 (7/1, 10/1)	学長
	刈谷市	刈谷市P-PFI事業者選定委員会「ミササガパーク」（猿渡公園）オープニングセレモニー (4/7)	学長
		第4回刈谷市魅力あふれる公園づくり推進委員会 (7/8)	学長
		第1回刈谷市総合運動公園整備管理運営事業提案評価委員会 (3/12)	学長
	豊田市	第3回中央公園民間活力導入事業選定委員会 (7/26)	学長
		鞍ヶ池公園評価委員会 (8/7)	学長
	知多市	佐布里緑と花のふれあい公園及び七曲公園指定管理者選定委員会 (10/4)	学長
	静岡市	用宗緑地park-PFI事業者選定委員会 (12/23, 3/18)	学長
	(一財)公園財団	国営木曽三川公園自己点検評価委員会 (2/6, 2/7)	学長
	国土交通省	国営木曽三川公園基本計画アドバイザー会議 (2/27)	学長
	(一財)日本公園緑地協会	公園管理運営士認定委員会 (4/19, 8/29, 1/31)	学長
(講師)	(一社)横浜市造園協会	「経営者研修会」講師 (11/14)	学長

－ 2 学校運営 －

区分	連携先	連 携 内 容	教職員名
(講師)	(一社)公園管理運営士会中部支部	都市公園法講習会講師 (12/5)	学長
	(一社)日本公園緑地協会	令和6年度公園リノベーション講習会講演 (1/24)	学長
	(一財)公園財団	2024年公園管理運営士更新講習会講師 (10/18)	学長
	岐阜県 中日新聞社	F B C岐阜県委員会指導者講習会 (5/22)	新井 前田
	みんなの森 ゑふメ ディアコスモス (岐阜市)	ハーブ・ガーデン講座 (5/12, 9/1, 10/12, 11/23, 3/9)	相田
	可茂地域花き生産者 協議会	研修会「花き園芸における魅せるデザインについて」 (8/8)	林
	NP0法人岐阜県園芸福祉協会東濃支部	フォローアップ研修会「失敗しない種まきの仕方」 (10/3)	前田
	岐阜県	多治見病院緩和ケア病棟 園芸療法指導 (4/16, 5/21, 6/18, 7/16, 8/21, 9/18, 10/15, 11/19, 12/17, 1/30, 2/25, 3/11)	相田
	岐阜県	花き担当普及指導員研修 (11/29)	臼田
	ぎふ清流里山公園	ワークショップ(現代アート) 講師 (3/9)	相田
	可児市 帷子地区センター	帷子キャンパス(学習講座)「花で知る、あなたの知らない世界」 (3/13)	吉田
(審査)	岐阜県 中日新聞社	第42回全国都市緑化ぎふフェア・F B C 60周年記念事業「花壇設計コンクール」審査会 (10/29)	学長
		F B C岐阜県委員会中央審査 (9/18, 19, 20)	伊藤 副学長
		令和6年度フラワー・ブラボー・コンクール(F B C) 花壇表彰式 (11/9)	学長
	東海地域花き普及・振興協議会 愛知豊明鉢物流通改善協議会	東海鉢物品評会 2024 観葉植物の部 審査員 (4/3)	前田
		2024 ポットプランツコンテスト・秋の部 審査員 (11/13)	村瀬
(視察対応)	愛知県木曽川用水営農対策推進協議会	行政視察(学校見学) (11/18)	学長 相田
(会議等)	岐阜県	花き担当者会議 (7/4, 3/17)	臼田 前田
	岐阜県	岐阜県農業担い手リーダー(指導農業士・女性農業経営アドバイザー・青年農業士)感謝状贈呈式及び認定証交付式 (5/24)	副学長
(関連行事)	岐阜県	県農業フェスティバル 学校紹介展 (10/26, 27)	岩井
	JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会 (岐阜県)	J R岐阜駅・アクティブG 「花で彩るクリスマス」 (12/18～25)	新井 林
	岐阜県	第73回関東東海花の展覧会岐阜県ブース (1/31～2/2)	伊藤 岩井
	岐阜県園芸特産振興会	フラワーバレンタイン (県庁、可児市、美濃加茂市) (2/14)	林 教務係

資料2-7 連携・協定締結自治体・企業との取組み （令和6年度）

(1) 自治体

自治体名	期日	内 容	教職員名
大野町	4/23	大野町公園等再整備計画検討委員会	学長
	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	4/25-26	令和6年度フラワー都市交流連絡協議会総会・交流会 (富山県砺波市)	学長
	6/27	大野町公園等再整備計画検討委員会	学長
	8/22	大野町公園等再整備計画検討委員会	学長
	9/6	生涯学習講座聴講（緑の法体系、講師：学長）	岩井
	10/4	生涯学習講座聴講（公園緑地に関する最近の動き、講師：顧問）	岩井
	11/12	国際園芸アカデミー開学20周年記念式典出席	学長
	2/4	大野町長との意見交換	学長
関市	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	7/15	アジサイの管理講習会	相田
	11/12	国際園芸アカデミー開学20周年記念式典出席	学長
	12/17	第42回全国都市緑化ぎふフェア『自治体花壇』花壇デザイン 協力（関商工高校）	学長
可児市	4/9	可児市長 入学式出席	学長
	4/13	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	4/26	可児市花いっぱい運動推進委員会	副学長
	5/2	可児市花いっぱい運動・花の育て方講座	新井
	6/3	バラ議会 バラ鉢のラッピング（6/4 議会）	吉田
	6/12	バラ議会 バラ鉢のラッピング（6/13 議会）	吉田
	6/23	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	6/27	バラ議会 バラ鉢のラッピング（6/28 議会）	吉田
	7/2	可児市花いっぱい運動・花壇コンクール審査	山本
	7/7	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	8/19	可児市議会（議長、副議長）との意見交換	学長
	8/25	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	9/29	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	10/25	可児市花いっぱい運動・花の育て方講座	新井
	11/12	国際園芸アカデミー開学20周年記念式典出席	学長
	11/17	桂ヶ丘まちづくり活動支援（花苗販売）	相田
	11/30	桂ヶ丘まちづくり活動支援（公園を考える会）	相田
	12/22	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	1/19	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	2/14	フラワーバレンタイン ブーケ作成・提供	長谷川
	2/16	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田
	3/4	可児市長 卒業式出席	学長
	3/13	可児市帷子キャンパス（学習講座）講師	吉田
	3/30	桂ヶ丘まちづくり活動支援	相田

自治体名	期日	内 容	教職員名
美濃加茂市	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	5/11	美濃加茂市役所花壇植栽支援	相田
	6/8	美濃加茂市長 アカデミー学園祭（なんじゃ祭）来場	学長
	10/12	美濃加茂市役所花壇植栽支援	相田
	11/4	美濃加茂市制 70 周年記念式典出席	学長
	11/12	国際園芸アカデミー開学 20 周年記念式典出席	学長
	2/14	フラワーバレンタイン ブーケ作成・提供	学長、岩井
	3/4	美濃加茂市長から卒業式祝電	学長
各務原市	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	5/27	各務原市景観委員会	相田
	12/14	「木曽川前渡南公園（わたしの PARK）」完成式典	学長
	2/12	各務原市内の企業による「企業説明会」（5 社出展）	伊藤、岩井
共通	4/12	アカデミー学生募集要項・ポスター送付（ポスター掲示）	教務課
	4/9	Web 配信 入学式（関市）	教務課
	5/29	Web 配信 海外視察研修報告会（関市、美濃加茂市）	
	10/31	Web 配信 インターンシップⅢ報告会（関市、美濃加茂市）	
	12/3	Web 配信 インターンシップⅠ報告会（関市）	
	2/5	Web 配信 卒業研究・卒業制作発表会（関市、大野町、可児市）	
	2/13	Web 配信 活動成果報告会（関市、大野町、可児市）	
	3/4	Web 配信 卒業式（関市、大野町）	
	3/7	Web 配信 教員企業研修報告会（一）	

－ 2 学校運営 －

(2) 企業

企業名	期日	内 容	教職員名
昭和造園土木株式会社	4/9	入学式出席（奨学金支援団体）	学長
	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	4/26 5/21	造園工学・施工論（非常勤講師：日比真一氏）	新井
	5/2 5/7 5/22 6/18	造園施工・管理実習他（非常勤講師：池上東平氏）	新井
	7/2	企業説明会参加	佐藤
	7/18	昭和造園土木奨学金奨学生決定通知書授与式（花束贈呈）	学長
	7/18	教育課程編成委員会出席	学長
	7/20	百年公園の花飾り（ドライフラワー）	林
	7/27	技術研修会参加（内容：技能検定、学生3名）	新井
	8/5	百年公園の花飾り（押し花展）	林
	10/8	百年公園の花飾り（ハーバリウム）	林
	11/12	国際園芸アカデミー開学20周年記念式典出席	学長
	11/18	教育課程編成委員会出席	学長
	12/5	百年公園の花飾り（クリスマスアレンジメント）	林
	2/18	畜産センター寄せ植え講座 講師派遣	吉田
	3/4	卒業式出席（奨学金支援団体）	学長
株式会社 ケーブルTV 可児	4/24	国際園芸アカデミー実践校育フィールド開設披露会出席	学長
	5/1	「CTK タイムズ・かにみた」での実践校育フィールド開設披露会の放送 5/1：2回、5/2～5/7：各日4回、5/8：2回 計28回放送	長谷川
	6/17	ケーブルTV可児の花飾り（ヨーロッパデザイン①）	林
	6/21	ケーブルTV可児の花飾り（ヨーロッパデザイン②）	林
	7/26	ケーブルTV可児の花飾り（ハイドロカルチャー）	林
	9/20	ケーブルTV可児の花飾り（押し花）	林
	11/12	国際園芸アカデミー開学20周年記念式典出席	学長
	11/24	「CTK タイムズ・かにみた」でのインターンシップⅢ放送 11/27～12/4	長谷川
	12/5	ケーブルTV可児の花飾り（クリスマスアレンジメント）	林
	12/26	ケーブルTV可児の花飾り（正月アレンジメント）	林
	1/23	「CTK タイムズ・かにみた（インターンシップⅢ放送分）」をケーブルテレビ可児 YouTube チャンネルにて公開	長谷川
	3/4	卒業式取材 「CTK タイムズ・かにみた」での卒業式の放送 3/12～3/19	長谷川

資料 2-8 教員の研修 （令和 6 年度）

(1) 指導力・資質向上のための研修

受講日	主催者	研修内容	受講者
4/12-13	一造会	第8回一造会（一級造園施工管理技士の会）京都庭園巡り参加	学長
5/19	日本園芸福祉普及協会	シンポジウム「静岡での農福連携の20年とこれから」（浜松市）参加	相田
5/24	(一社)公園管理運営士会	2024年度大会開催機縁・公開セミナー「これからのパークマネジメントを考える」	学長
6/14-16	日本造園学会	全国大会「ランドスケープ遺産の意義と展望-過去から未来をつなぐ」	学長 相田
6/22	(一社)岐阜県造園緑化協会	技能検定予備講習会	新井
6/25	(一社)公園管理運営士会 中部支部	講演会「人前で上がらず話せる方法」	学長
7/11	(一財)日本造園修景協会 東海支部	講演会「まちづくりGXについて」 まちを醸成する庭と園芸」	学長 相田
7/17	(一財)公園財団	設立50周年記念シンポジウム「これからの社会形成に向けた公園の挑戦」	学長
7/27	昭和造園土木株式会社	技術研修参加	新井
8/8	岐阜労働局 職業対策課	～就職につまずかないために～ 「発達障がい者支援セミナー」	相田
9/28-29	(一社)日本造園組合連合会岡山支部	「技能五輪に向けて」講習会	新井
10/24	(一財)日本造園修景協会 東海支部 (一社)公園管理運営士会 中部支部	合同視察研修会 東山動植物園 再生プランについて	学長
10/25	(一社)日本公園緑化協会	令和6年度「広げよう育てようみどりの都市」全国大会事例発表／講演会「公園緑地に関する最近の動向について」	学長
11/14	株式会社 パーク・コーポレーション	花卉業界意見交換会	林
12/3	岐阜県 岐阜県職業能力開発協会	第45回岐阜県職業能力開発促進大会講演会「文化の伝承 心と形」	教務課
12/14-15	日本造園学会中部支部大会	公開シンポジウム「文化財庭園の次世代への継承」	相田
1/17	ぎふ花き流通センター 農業協同組合	令和7年新年交歓会基調講演「今どき若手社員の実態と効果的なコミュニケーションの取り方」	学長
2/8-9	(一社)日本造園組合連合会	造園実習指導力向上研修会参加	新井

－ 2 学校運営 －

受講日	主催者	研修内容	受講者
2/22-23	(一社)日本造園組合連合会 関西ブロック	令和6年度関西ブロック講習会 第4回造園技能次世代指導者育成講座 参加	新井
2/25	岐阜県	岐阜県スマート農業推進セミナー (Web参加)	臼田 前田
3/5	ぎふ花と緑の振興 コンソーシアム	研修会講演会 「2027年国際園芸博覧会の開催と効果」 「押し活との組み合わせによる花と緑の 消費拡大」 「ECを活用した効果的な販売手段」	前田
3/10	東海農政局	東海地域花きセミナー 「花き消費動向について」 「今後の花き物流について」	前田

(2) 教員企業研修

専攻 コース	受講 教員	研修先企業等 (所在地)	研修日	研修内容
花き生産	臼田 教授	J Aあがつま草花部会六合支部 (吾妻農業事務所普及指導課) (群馬県)	9/27	・セダムなどの通常脇役として扱われる切花の産地を調査し、産地づくりの経緯や栽培技術を学んだ。露地や無加温での少ない資本投資での花き生産モデルとして、知見を深めることができた。
		J A常陸奥久慈枝物部会 (茨城県日立大宮地域農業改良普及センター) (茨城県)	12/4	・耕作放棄地や遊休農地を活用して大きく成長した枝物産地を調査し、産地づくりの経緯や経営者のやりがいなどを学んだ。本学での実習や学生の進路選択の参考にすることができた。
	前田 准教授	株式会社ホームセンターバロー (多治見市、可児市) (愛知県稲沢市)	7/17 10/15 11/27	・ホームセンターの園芸部門の業務内容や、求める人材などについて研修。また、販売する班和えを自社生産する施設を視察し、需要を見越した花苗の生産計画について情報を収集した。
花き装飾	吉田 准教授	Flower School LINOKA Kukka 梨乃花 FIND 北欧フラワーデザイン協会コーディネート の PIRJO・KOPPI氏のワークショップ (東京都)	10/22 10/23	・北欧のフラワーデザイナーによるワークショップに参加し、作品を制作することで多くの技術を習得するとともに、ヨーロッパのデザインの傾向、フラワーデザイン業界の現状などを学んだ。
		株式会社大田花き (東京都)	5/7 5/8	・全国はもとより世界各国から花が集まる大田市場（東京都）の流通関連企業での研修を通じ、花の市場流通の現状を学ぶとともに、最新の商品動向についての情報収集を行った。
	林 准教授	株式会社バロー (多治見市)	1/23	・近年、切花部門に力を入れて店舗事業を展開中の中部地方を中心としたスーパーマーケットで、切花の売れ行きなどの動向を研修。
		株式会社光花 (岐阜市)	7/26 10/19 10/20 12/8	・花き装飾企業が行う現場の作業を体験し、装飾業界の幅広い業務内容を研修。また、装飾業界に求められる人材についても情報収集した。

専攻 コース	受講 教員	研修先企業等 (所在地)	研修日	研修内容
造園緑化	相田 教授	中電ウイング株式会社 いちご事業部 (可児市)	10/24	・企業が障がい者雇用促進のために設立した特例子会社が運営するいちご事業部の運営を研修し、障がい者を雇用する上での配慮状況などを学んだ。また、いちごのブランディング戦略についての考え方を学んだ。
		NPO法人土と風の舎 (埼玉県)	12/7 12/8	・親子を対象とした園芸福祉活動に参加し、活動の運営方法について学ぶことができた。また、ソーシャルファームの現場を視察し、新たな知見を得ることができた。
	新井 准教授	(一社)日本造園組合連合会岡山 県支部 (岡山県)	9/28 9/29	・技能五輪全国大会の課題を実際に制作しながら、施工の手順や注意点などを学んだ。技能五輪で必要となる石積み、敷石、小舗石などの技術を学び、学生への技術指導の強化を図ることができた。
		株式会社富士植木 (東京都)	10/18 10/19	・改修工事中の講演整備工事を事例として、計画段階から完成までの施行管理に係る原価管理について研修した。都内の様々な造園空間を視察し、最新の都市緑化についての情報を収集した。
マネージ メント等	佐藤 准教授	株式会社パーク・コーポレーシ ョン (東京都)	11/18 11/19 11/20	・花き園芸店のブランディングやマーケティングの考え方について研修。また、同企業の社員研修を視察し、人材育成に対する取り組みを学んだ。

資料2-9 開学 20 周年記念事業 (令和 6 年度)

国際園芸アカデミー開学20周年記念事業

事業項目	担当	予算	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月	備考	参加人数						
20周年記念誌の発行	同窓会	クラウドファンディング									○	○		●								
											クラファン立ち上げ(12/22)	クラファン達成・追加(1/19)		発送(3/23)								
	担当		2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月	備考							
教育実践フィールド開設	教務課	1,754,000	●												花トピア展示ホール	50						
			開設披露会(4/24)																			
20年の実績概要版作成	教務課	—			●										幅広く配布							
					6月版(6/27)	一随時配布中																
20周年記念なんじゃ祭	学生会/総務委員会			●											国際園芸アカデミー校内	30						
				開催(6/6)																		
なんじゃ祭Tシャツ展示	総務委員会(相田)	—		○																		
アカデミーの歩み放映	総務委員会(吉田・村瀬)	—		○																		
なんじゃ祭の軌跡放映	総務委員会(前田)	—		○																		
受賞歴の紹介掲示	教務課	—		○																		
20周年記念商品販売	花き生産コース	—		○																		
アレンジメント制作体験	花き装飾コース	—		○																		
20周年ロゴ作成	教務課	—			●										横断幕と連動							
					決定(6/26)																	
20周年記念横断幕の設置	教務課	令達予算			○	○	○	◇	●						5100×750mm							
				学内でデザイン募集(6/5-17)	デザイン決定(6/21)	契約(7/5)	設置(8/3)															
学生・教職員メッセージ	教務課	—					○	●		○	○	●			学内掲示							
							M1撮影(7/26)	M1提示(8/2)	M2撮影	教職員	掲示											
20周年記念記念式典の舉行	農産園芸課/教務課	2,000,000					○					●			花トピア温室	120						
							農政部長打合せ(8/9)	→農産園芸課と計画を詰める	→	→	→	式典(11/12)										
基調講演	農産園芸課	—										○										
全国都市緑化ぎふフェア	農産園芸課	—										○										
国際園芸博覧会	農産園芸課	—										○										
感謝状の贈呈	農産園芸課/教務課	—					一贈呈候補者選定					一感謝状準備	○									
記念品(ノベルティ)の配布	農産園芸課/教務課	—						一記念品の選定・発送				納品	○		お菓子、ボールペン							
学生・教職員メッセージ掲示	教務課	—										一提示ノベル作成	○									
参加者への花苗の配布	花き生産コース	—										→20周年記念ラベル作成	○		ガーデンシクラメン							
会場装飾	花き装飾コース	—										○										
花束作成プレゼント	花き装飾コース	200,000										○										
来賓コサージュ作成	花き装飾コース	—										○										
卒業制作の紹介(ノベル)	造園緑化コース	—										→ノベル作成	→	→	→							
受賞実績(ポスター)	教務課	—										→データ収集・ポスター制作	→	→	→							
なんじゃ祭(ポスター)	総務委員会(前田)/教務課	—										→データ収集・ポスター制作	→	→	→							
海外視察研修(ポスター)	教員/教務課	—										→データ収集・ポスター制作	→	→	→							
なんT展示	総務委員会(相田)	—					→学校に無い年度のTシャツ提案					○										
記念誌配布	同窓会	—										一配布準備	○									
クラウドファンディング協力者一覧掲示	同窓会/教務課	—										一提示ノベル製作	○									
20周年特設サイトの増設	教務課/総務委員会	446,000				○	○	○	○	◇	○			●	図・HPに増設							
						構成の検討	仕様打合せ	契約(8/30)	打合せ(9/18)	データの提供	→	→	→	打合せ(12/26)	作成作業	→	→	→	学内での確認	開設(3/7)		
20周年PR花販売	花き生産コース	—										○	○	●		場所:ぎふWRG						
												20周年記念商品作成	イベント販売(10/26-27)									
20周年コラボ企画(ぎふWRG地球館展示)	花き装飾コース	—				○						◎	○	○	○	場所:ぎふWRG						
						打合せ(7/11)						設置(11/28,29)	展示→	→	12/25							
20周年コラボ企画(江南フワワーパーク展示)	花き装飾コース	—					○	○				◎	○	○	○	江南フワワーパーク						
						打合せ(7/31)	打合せ(8/16)					設置(11/20,22)	展示→	→	12/25							
20周年コラボ企画(アクティブQ展示)	花き装飾コース	—											●	○		アクティブQ						
												設置(12/20)→12/25										
記念植樹	造園緑化コース	十六財団 100,000					○		◇	◇		□		●		国際園芸アカデミー校内 なんじゃもんじゃの木	19	卒業生、学生 教員				
							見積(8/28)	十六財団申請(9/29)	助成決定(10/1)		施工調整(11/18)	植樹(12/19)										
記念碑の設置	造園緑化コース	十六財団 200,000					○		◇	◇		□		●		国際園芸アカデミー校内 御影石						
							見積(8/29)	十六財団申請(9/29)	助成決定(10/1)		施工調整(11/23)	設置(12/19)										
開学20周年記念活動成果報告会	総務委員会	—							○	9/19	○	10/17	○	11/22	○	12/19	1/16	○	◇	●		
										一総務委員会の方針、内容を検討						開催案内(1/24)	報告会(2/13)					
計		4,700,000																			計	250

客数316人
(仮集)

卒業生、学生
教員

会場・zoom

－ 3 教育活動 －

資料3-1 学生の授業評価アンケート結果 (令和6年度)

○ 令和6年度 前期 (マイスター科1年生)

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	栽培・生産論	必修	花き生産流通	30	臼田	20	①土壌の性質及び肥料の働きについて習得する	89.0	②病害虫対策について習得する	87.0	③かん水システムの特徴について習得する	87.0	④岐阜県育成花きの特性を習得する	87.0	87.5	3.8
2	植物生理学	必修	花き生産流通	30	前田	20	①植物体の構造とそのはたらきを理解する。	89.7	②植物の代謝およびその制御方法を理解する。	85.6	③環境制御による植物のライフサイクルの調節方法を理解する。	86.8	④花の老化の仕組みおよび老化を防止する方法を理解する。	90.9	88.2	3.8
3	花き生産実習	必修	花き生産流通	90	臼田	20	①花きの繁殖方法を理解する。	90.9	②花きの栽培管理を習得する。	89.7	③花きの出荷調整を習得する。	86.8	④チームワークの重要性を理解する。	90.9	89.6	3.8
4	園芸流通概論	必修	花き装飾	30	臼田	20	①国内外の花きの生産状況を理解する。	86.8	②卸売市場や農協の中間業者の役割と機能を理解する。	87.9	③現場を視察し、最新の情報や商品に触れて、園芸品目の流通を理解する。	89.7	④花きの小売店の現状や課題を理解する。	86.2	87.6	3.7
5	園芸装飾実習Ⅰ	必修	花き装飾	30	吉田	20	①生活空間での植物の装飾方法および家庭園芸での植物の維持管理方法を理解する。	87.9	②制作した寄せ植えハンギングバスケットなどを長期メンテナンスすることによって、管理方法を習得する。	86.2	③園芸装飾実技試験のデモンストレーションを通し、観葉植物を使用した装飾方法を習得する。	86.2	④春から秋にかけての植物の管理を習得する。	86.8	86.8	3.6
6	フラワーデザイン実習Ⅰ	必修	花き装飾	60	林	20	①フラワーアレンジメントの基本技術を習得する。	90.3	②花束の基本技術を習得する。	88.5	③フラワーデザインについての基本知識を習得する。	89.7			89.5	3.8
7	3級園芸装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	村瀬	7	①3級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。	93.3	②3級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。	93.3	③実技試験内容を繰り返し制作練習することで装飾技術を習得する。	93.3			93.3	4.0
8	3級フラワー装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	安保	14	①3級フラワー技能検定の合格水準の技術力を習得する。	90.5	②実技試験内容を繰り返し制作練習することで基礎的な技術を習得する。	90.5	③学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。	91.4			90.8	3.8
9	造園学概論	必修	花き装飾	30	相田	20	①造園の全体像について理解する。	87.9	②日本と海外の庭園・造園やわが国の公園制度などについて理解する。	83.8	③実際に造園空間を見学することにより、様々な造園空間に対する知識を深める。	87.9			86.6	3.6
10	花修景実習Ⅰ	必修	造園緑化	30	相田	20	①植物の成長と管理方法を継続的に記録することができる。	85.6	②花壇の計画ができる。	87.4	③花を使った修景空間の視察調査を報告することができる。	86.8			86.6	3.5
11	造園施工・管理実習Ⅰ	必修	造園緑化	60	新井	20	①造園施設(竹垣、敷石、レンガ舗装など)の施工ができる。	86.2	②造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理ができる。	87.9	③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業できる。	90.9			88.3	3.7
12	3級造園技能検定対策実習	選択	造園緑化	45	新井	4	①実技試験(製作等作業試験)に関し、規定時間内に規定の寸法どおりにおおむね完成することができる。	95.0	②実技試験(判断等試験)に出題される樹木をおおむね判別することができる。	88.3	③学科試験の合格水準に達する程度の知識を習得する。	95.0			92.8	4.0
13	商品動向リサーチⅠ	必修	造園緑化	15	臼田	20	①春夏期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。	83.2	②図鑑やインターネットを利用した植物の調べ方を知る。	90.3	③植物の写真の撮り方の基礎を知る。	89.7			87.7	3.7
14	植物管理基礎実習Ⅰ	必修	造園緑化	60	吉田	20	①春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	89.7	②春・夏期における灌水技術を習得する。	89.7	③春・夏期における温室の管理技術を習得する。	88.5			89.3	3.8
15	Global Communication in HorticultureⅠ	必修	マーケティング	30	大脇	20	①英語の基本的な文法を反復練習にて習得する。	86.3	②自己紹介、挨拶等スモールトークができる。	83.8	③他国について学ぶ中で、自国や自分自身への理解を深める。	85.6	④教科書の英文から各章の内容に沿って、英国を理解するために必要な情報を読み取れる。	82.5	84.5	3.3

－ 3 教育活動 －

○ 令和6年度 前期（マイスター科2年生）

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
1	生産マネージメント実習Ⅱ	選択	花き生産流通	120	臼田	3	施肥設計や品目、品種設定ができる。	81.7	温室の栽培管理ができる。	88.3	M1生指導を通じてリーダーシップを理解する。	85.0	作業内容のふり返しと必要な改善項目の報告ができる。	85.0	85.0	3.3
2	生産課題解決演習Ⅱ	選択	花き生産流通	60	臼田	3	適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。	88.3	課題研究を通じて課題解決力を身につける。	88.3	課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。	88.3			88.3	3.0
3	基礎育種学	選択	花き生産流通	30	前田	11	植物の遺伝の仕組みを理解する。	86.8	様々な育種の方法について知る。	87.7	交配育種に必要な基本的知識および技術を習得する。	86.8			87.1	3.5
4	フラワー装飾演習	選択	花き装飾	60	林	14	空間を花で飾る技術を習得する。	81.9	花き装飾の歴史的かつ文化的行事などの知識を習得する。	78.8	花の原価について知る。	83.5	フローリストとしての発想力や応用力を習得する。	82.7	81.7	3.4
5	ウェディング実習	選択	花き装飾	30	脇田	11	デザイン力、提案力、応用力を習得する。	83.2	ウエディング装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。	83.2	チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。	88.6	ウエディングの基礎知識を習得する。	85.0	85.0	3.8
6	フューネラル実習	選択	花き装飾	30	村瀬	12	デザイン力、提案力、応用力を習得する。	84.2	フューネラル装花のトータルコーディネートを経験し、空間を花で飾る技術を習得する。	83.3	チームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解する。	88.3	フューネラルの基礎知識を習得する。	86.7	85.6	3.7
7	装飾技術スキルアップ実習	選択	花き装飾	45	吉田	12	フローリストとしての発想力や応用力を習得する。	84.2	フローリストとしてフラワーデザインに関する知識を習得する。	84.2	課題に取り組むことでフローリストとしての作業所作を習得する。	86.7			85.0	3.6
8	2級園芸装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	30	林	1	2級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。	85.0	級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。	95.0	実技試験内容を繰り返し制作練習することで装飾技術を習得する。	85.0			88.3	4.0
9	2級フラワー装飾技能検定対策実習	選択	花き装飾	60	新山	10	2級フラワー装飾技能検定の合格水準の技術力を習得する。	89.0	学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。	90.0	実技試験練習を繰り返すことでフローリストとしての作業所作を習得する。	90.0			89.7	3.9
10	花修景実習Ⅲ	選択	造園緑化	30	新井	11	有料公園における花修景の植栽計画・植物の特性・年間管理を理解する。	84.0	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業できる。	88.0					86.0	3.1
11	造園施工・管理実習Ⅲ	選択	造園緑化	60	新井	7	造園施設（園路舗装、建仁寺垣など）の施工ができる。	86.4	造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理ができる。	86.4	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業ができる。	93.6			87.0	3.2
12	造園総合実習	選択	造園緑化	90	新井	7	造園空間の計画・設計・施工までの一連の作業の流れを理解することができる。	89.3	これまで他科目で学んだことを本科目で活かして実習することができる。	87.9	グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業ができる。	92.1			89.8	3.4
13	2級造園技能検定対策実習	選択	造園緑化	45	新井	5	学科試験の合格水準に達する知識を習得する。	92.5	実技試験（製作等作業試験）に関し、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。	87.5	実技試験（判断等試験）に出題される樹木を判別することができる。	90.0			90.0	3.5
14	造園工学・施工論	選択	造園緑化	30	新井	6	2級造園施工管理技術検定の第一次検定について合格水準に達するよう知識を習得する。	80.0							80.0	3.0
15	SNSプロモーション	選択	マーケティング	30	中村	11	YouTubeの仕組みを理解する。	85.0	クリップチャンプ等の動画作成アプリを使って動画編集できる。	88.8	YouTubeにプロモーション動画（作品）をアップロードする。	86.3			86.7	3.4

－ 3 教育活動 －

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
16	キャリアデザインⅡ	必修	マネジメント	30	佐藤	22	卒業後の現実的なライフプランニング(生活費と給与)を知り理解する。	84.5	建設的なディスカッションを体験し、協働の必要性を理解する。	84.5	労働法、給与、租税法(主に所得税)、資産形成に関する知識を理解する。	81.8			83.6	3.3
17	基本簿記	選択	マネジメント	30	佐藤	19	簿記の基礎を理解する。	81.5	期中(開始日から終了日までの間の期間)の処理(仕訳、転記、試算表)を理解する。	81.5	伝票処理を理解する。	81.5			81.5	3.2
18	園芸文化研修	選択	文化・利用	30	今西	20	日本の園芸・庭園文化を体験し、自らの見識を養い理解する。	88.5	これまでに学んできた「花と緑」に関する知識や技能と園芸・庭園文化との繋がりを理解する。	88.0	園芸・造園の社会的意義を知り、長い歴史に培われて来た文化的景観を理解する。	88.0			88.2	3.7
19	盆栽実習	選択	文化・利用	15	福本	18	盆栽の歴史、精神性について知る。	84.4	盆栽の剪定、針金掛け、植え替えを習得する。	85.6	盆栽を通して自然観を表現できる。	86.7			85.6	3.4
20	植物管理基礎実習Ⅲ	必修	植物管理	30	吉田	22	春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	87.7	春・夏期における灌水技術を習得する。	88.6	春・夏期における温室の管理技術を習得する。	88.2	上記の知識・技術を他者に伝達する能力を身につける。	87.3	88.0	3.4
21	海外視察研修	必修	国際性	90	新井	22	研修テーマを設定し、テーマに応じた調査ができる。	86.4	視察先で説明者の説明を傾聴し、メモをとるなど知識を習得し、国際感覚を養うことができる。	86.8	視察先での学びや気づきを日報にまとめる事ができる。	88.2	研修内容をとりまとめ、報告することができる。	88.2	87.4	3.4
22	インターンシップⅡ	選択	就業体験	60	各コース担当教員	12	社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	90.0	研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	90.0	研修を振り返り、研修内容をとりまとめることができる。	90.0			90.0	3.9

1 到達度

- ・シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標^(※)に対して、学生がどの程度習得できたかを自己評価したもの。
- (※) 到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。
- ・学生は、以下の【評価基準】を基に、S・A・B・C・Dの5段階で到達目標ごとに自身の到達度評価を実施。
- 集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出。
- ・『到達度平均』は、到達目標ごとの受講者全体における到達度平均値。
- ・『到達度総平均』は、授業ごとの「到達度平均」の平均値。

【評価基準】

100	90	80	70	60	0
代表値	95	85	75	65	55
	S	A	B	C	D
	完全に 習得できた	十分に 習得できた	習得できた	概ね 習得できた	習得 できなかった

2 授業満足度

- ・下記の観点で、学生が総合的に判断した満足度。

・授業のテーマは明確に示されていたか ・授業の難易度は適切であったか ・教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか ・質問や相談ができるよう配慮されていたか ・授業を通して、新しい知識や技術を得られたか
--

- ・[十分満足(4)・満足(3)・普通(2)・不満(1)]の4段階で評価。
- ・集計時は、受講者全体の満足度平均を算出。

4	3	2	1
十分満足	満足	普通	不満

－ 3 教育活動 －

○ 令和6年度 後期（マイスター科1年生）

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
16	イベント販売実習	必修	花き生産流通	15	前田	20	①商品企画、商品開発、販売、分析の一連の活動を理解する。	87.5	②商品ディスプレイ、POP作成など、イベント販売における店舗デザインを学ぶ。	88.0	③接客時における接遇やマナーを実践的に体得する。	86.0	④イベントにむけて共働する事によるリーダーシップ、フォロワーシップを学ぶ。	86.5	87.0	3.7
17	生産マネージメント実習Ⅰ	選択	花き生産流通	60	臼田	7	①施肥設計や品目、品種設定ができる。	80.7	②温室の栽培管理ができる。	85.0	③チームワークの重要性を理解する。	93.6	④実習の課題をみつけ、改善することができる。	83.6	85.7	3.4
18	生産課題解決演習Ⅰ	選択	花き生産流通	45	臼田	3	①適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。	85.0	②課題研究を通じて課題解決力を身につける。	85.0	③課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。	85.0			85.0	4.0
19	園芸装飾実習Ⅱ	選択	花き装飾	30	吉田	15	①装飾事例の調査から各自のテーマに沿った分析をする。	87.0	②バルコニープランター・ハンギングバスケットの開花調整、メンテナンス方法を習得する。	85.7	③室内園芸装飾作品における基本的テクニックの習得をする。	87.7		86.3	86.7	3.5
20	フラワーデザイン実習Ⅱ	選択	花き装飾	60	林	14	①自ら花材を選びイメージを形にできる。	85.0	②季節の商品が制作できる。	85.0	③花に関わる季節行事を知る。	86.4			85.5	3.6
21	花修景実習Ⅱ	必修	造園緑化	30	相田	20	①植物の成長と管理方法を継続的に記録することができる。	84.5	②花壇の計画ができる。	85.0	③一年草、球根、宿根草、樹木などの名前や管理方法を理解することができる。	84.0			84.5	3.4
22	造園施工・管理実習Ⅱ	選択	造園緑化	60	新井	4	①造園施設（景石、延段など）の施工ができる。	92.5	②造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理ができる。	92.5	③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームで作業ができる。	92.5			92.5	3.8
23	測量実習	選択	造園緑化	30	新井	5	①測量機器の操作方法、測量データの整理ができる。	87.0	②平板測量、水準測量、地形測量の測量技術に関する知識を習得する。	87.0	③設計図から現場に位置出しができ、丁張を設置することができる。	87.0			87.0	3.6
24	製図実習	選択	造園緑化	30	新井	5	①造園図面の基本的な作図方法を習得する。	89.0	②平面図や立面図などの造園図面を描くことができる。	89.0	③図面から実際の空間のスケール感を捉えることができる。	89.0			89.0	3.8
25	CAD製図実習	選択	造園緑化	30	相田	5	①CADによる2D図面が作成できる。	85.0	②CADによる3D図面が作成できる。	87.0					86.0	3.6
26	イベントディスプレイ実習	選択	造園緑化	30	新井	5	①駅でのディスプレイについて考察し、デザインコンセプトの立案ができる。	89.0	②基本的な工具（インパクトドライバ、ラチェットレンチ、電動サンダー等）を使用することができる。	89.0	③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションをとりながらチームで作業ができる。	89.0			89.0	3.6
27	商品動向リサーチⅡ	必修	マーケティング	15	臼田	20	①秋冬期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。	87.0	②MSエクセルを使った画像情報を含むデジタルデータベースを完成する。	90.0					88.5	3.7
28	商品開発演習	選択	マーケティング	30	小笠原	11	①園芸業界での商品開発の実際を知る。	87.7	②個人のテーマから、商品企画から商品開発までのスキルを学ぶ。	85.9	③商品開発をした商品を実店舗で販売する。	89.5			87.7	3.7
29	キャリアデザインⅠ	必修	マネージメント	30	佐藤	19	①自身の現在の『社会人基礎力』を知り、伸ばす努力を行えるようになる。	81.8	②自らの労働観や職業観を養う。	83.4					82.6	3.4
30	起業・経営シミュレーション	必修	マネージメント	30	佐藤	20	①経営学の基本的な知識を習得する。	83.5	②企業、組織の経営について、経営学の基本的な理論を用いて考えることができる。	85.0					84.3	3.4

－ 3 教育活動 －

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
31	園芸色彩学	選択	文化・利用	30	荏原	19	①色彩学の基本的な知識と花と緑における色彩について理解する。	86.1	②花き装飾における色彩について理解する。	86.1	③造園緑化における色彩について理解する。	83.3			85.2	3.6
32	いけばな	選択	文化・利用	15	片倉	16	①いけばなの歴史を知る。	87.5	②いけばなの基本的実技を習得する。	87.5					87.5	3.6
33	園芸福祉論・実習	選択	文化・利用	30	相田	15	①福祉施設における園芸福祉プログラムを理解する。	83.7	②ハーブを取り入れた園芸福祉プログラムを理解する。	84.3	③地域における園芸福祉プログラムを理解する。	83.7			83.9	3.5
34	植物管理基礎実習Ⅱ	必修	植物管理	30	吉田	20	①秋・冬期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。	88.0	②秋・冬期における灌水技術を習得する。	89.5	③秋・冬期における温室の管理技術を習得する。	88.5			88.7	3.6
35	Global Communication in Horticulture Ⅱ	必修	国際性	30	大脇	19	①旅先での基本的な英会話を習得する。	80.8	②イギリスの文化、風習を知る。	83.4	③自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化について英語で情報発信できる。	79.7			81.3	3.2
36	インターンシップⅠ	必修	就業体験	120	各コース担当教員	20	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。	90.8	②研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。	89.2	③研修内容をとりまとめ、報告することができる。	89.2			90.3	3.7

1 到達度

- ・シラバスに記載されている、授業ごとに複数設定される到達目標^(※)に対して、学生がどの程度習得できたかを自己評価したもの。
- (※) 到達目標は、1つの授業に対して最大4つまで設定。
- ・学生は、以下の【評価基準】を基に、S・A・B・C・Dの5段階で到達目標ごとに自身の到達度評価を実施。
- 集計時は、[S=95、A=85、B=75、C=65、D=55]の代表値に置換え、学生個人の『到達度』を算出。
- ・『到達度平均』は、到達目標ごとの受講者全体における到達度平均値。
- ・『到達度総平均』は、授業ごとの「到達度平均」の平均値。

【評価基準】

100	90	80	70	60	C
代表値	95	85	75	65	55
	S	A	B	C	D
	完全に 習得できた	十分に 習得できた	習得できた	概ね 習得できた	習得 できなかった

2 授業満足度

- ・下記の観点で、学生が総合的に判断した満足度。

・授業のテーマは明確に示されていたか ・授業の難易度は適切であったか ・教科書や配布資料、パワーポイントなど理解できるものであったか ・質問や相談ができるよう配慮されていたか ・授業を通して、新しい知識や技術を得られたか
--

- ・[十分満足(4)・満足(3)・普通(2)・不満(1)]の4段階で評価。
- ・集計時は、受講者全体の満足度平均を算出。

4	3	2	1
十分満足	満足	普通	不満

－ 3 教育活動 －

○ 令和6年度 後期（マイスター科2年生）

No.	授業名	履修区分	分野	時間数	担当教員	受講者数	到達目標①		到達目標②		到達目標③		到達目標④		到達度総平均	授業満足度
							目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均	目標	到達度平均		
23	スマート農業研修	選 択	花き生産流通	15	臼田	4	①スマート農業の基本的知識を習得する。	87.5	②施設園芸の環境制御の基礎知識を習得する。	87.5					87.5	3.3
24	フラワービジネス演習	選 択	花き装飾	15	吉田	13	①花のビジネスモデルを知る。	88.1	②フラワービジネスにおけるコスト、マーケティングについて理解する。	86.5					87.3	3.7
25	造園積算・施工管理演習	選 択	造園緑化	15	新井	7	①設計から現場施工まで造園工事の流れについて理解する。	90.7	②設計図から数量を拾うことができる。また、歩掛等を使用し、積算することができる。	89.3	③施工管理（出来形、出来高、品質管理、写真管理等）について理解する。	90.7			90.2	3.7
26	公園・緑化概論	選 択	造園緑化	15	今西	7	①都市公園・都市緑化に関する基本法令、制度についての基礎知識を習得する。	87.9	②都市環境の改善及び都市の防災性の向上等、今日の都市が直面している課題の解決に資する都市公園・緑化のあり方、都市公園における課題の解決策について理解する。	87.9					87.9	3.3
27	植物ビジネス論	選 択	マネージメント	15	外部講師	20	①各分野の最新の事例や秀逸な取り組みを理解する。	87.5	②積極的な質問や議論を行う。そして、講師と人的ネットワークを構築する。	84.5					86.0	3.4
28	インターンシップⅢ	必 修	就業体験	150	各コース教員	22	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を知り実践できる。	90.5	②受入れ企業の事業活動を理解し、研修で得た気づきや学びを振り返る力を習得する。	90.5	③研修内容を取りまとめ、報告することができる。	91.4			90.8	3.8
29	卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き生産コース）	必 修	課題解決	240	各コース教員	3	①課題のテーマに基づき、卒業論文をまとめることができる	85.0	②論文要旨を発表することができる	85.0	③担当温室の状況を把握し、適切に管理することができる。	85.0	④花き業界の動向を理解する	85.0	85.0	3.0
30	卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き装飾コース）	必 修	課題解決	240	各コース教員	12	①各自の課題設定に基づき、計画を立て、制作を繰り返すことで実践的な即戦力となる技術を習得する。	89.2	②制作物の制作過程を記録に残す。	90.8	③プレゼンテーションができる。	90.0			90.0	3.8
31	卒業研究・卒業制作Ⅱ（造園緑化コース）	必 修	課題解決	240	各コース教員	7	①課題に取り組み、解決を図る。	92.1	②その過程や結果について記録を残す。	90.7	③プレゼンテーションができる。	89.3			90.7	3.6

資料3-2 主な学校行事等 (令和6年度)

時 期	行 事 名	備 考
4月1日(月)～4月2日(火)	春季休業	
4月3日(水)	前期授業開始日(2年)	～9月26日(木) 前期授業最終日
4月9日(火)	入学式	入学生21名
4月24日(水)	実践教育フィールド開設披露会	ぎふワールド・ローズガーデン花トピア
4月9日(火)～4月11日(木)	新入生ガイダンス	1年生20名(1名休学)
5月1日(水)～5月4日(土・祝)	学校見学会	参加者7名(別途同伴者等8名)
5月12日(日)～5月16日(木)	海外視察研修	シンガポール
5月29日(水)	海外視察研修報告会	マイスター科2年生(+オンライン)
5月31日(金)	学校関係者評価委員会	オンライン併用にて実施
6月8日(土)	学園祭(なんじゃ祭)	学生会主催
	学校見学会	参加者16名(別途同伴者等16名)
7月2日(火)	企業説明会	出展企業 20社
7月18日(木)	教育課程編成委員会(第1回)	オンライン併用にて実施
7月27日(土)～8月31日(土)	夏季休業	集中講義等実施
8月4日(日)～8月5日(月)	オープンキャンパス	参加者29名(別途同伴者等19名)
9月10日(火)	緑の学園	県内農業系高等学校7校 2年生33名
9月15日(日)～9月17日(火)	学校見学会	参加者11名(別途同伴者等2名)
9月25日(水)	花と緑の意見交換会	卒業生6名と1、2年生の意見交換
10月1日(火)	後期授業開始日	～2月21日(木)後期授業最終日
9月30日(月)～10月21日(月)	インターンシップⅢ	15日間以上の実習 2年生22名
10月16日(水)	入学試験(推薦入試)	マイスター科(推薦入試) 出願者28名
10月31日(木)	インターンシップⅢ報告会	マイスター科2年生(+オンライン)
11月2日(土)	オープンキャンパス	参加者4名(別途同伴者等4名)
11月2日(土)～11月19日(火)	インターンシップⅠ	10日間以上の実習 1年生20名
11月12日(火)	開学20周年記念式典	ぎふワールド・ローズガーデン花トピア
11月18日(月)	教育課程編成委員会(第2回)	オンライン併用にて実施
11月20日(水)	入学試験(一般入試第1回)	マイスター科(一般入試第1回) 出願者9名
12月3日(火)	インターンシップⅠ報告会	マイスター科1年生(+オンライン)
12月19日(木)	開学20周年記念碑設置、記念植樹	造園緑化コース、卒業生
12月25日(水)～1月6日(月)	冬季休業	
2月5日(水)	卒業研究・卒業制作発表会	マイスター科2年生(+オンライン)
2月13日(木)	活動成果報告会	聴講者32名(オンライン13名、YouTube13名、会場6名)
3月4日(火)	卒業式	卒業生22名
3月5日(水)～3月31日(月)	春季休業	
3月7日(金)	教員企業研修報告会	聴講者11名(オンライン9名、会場2名)
3月15日(土)～17日(月)	春の学校見学会	参加者16名(別途同伴者等17名)

資料3-3 各種発表会・報告会（令和6年度）

○海外視察研修発表会

- ◆趣 旨 新型コロナウイルスの感染が落ち着き、シンガポールを視察先として5年ぶりに海外視察研修を実施
生産・装飾・造園の各コースの視点で各学生が課題を設定し、視察先での聞き取りや調査を行った結果等について発表
- ◆日 時 令和6年5月29日（水）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ◆内 容 マイスター科2年による研修報告
- ※視察先企業、ご家族等、外部関係者
Web会議アプリZoomにて視聴：13名、YouTube配信にて視聴：9名

○インターンシップⅢ報告会

- ◆趣 旨 マイスター科2年生が、就職を希望する業種でのインターンシップで学んだ内容を報告
- ◆日 時 令和6年10月31日（木）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ※インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族等、外部関係者は
Web会議アプリZoomにて視聴：26名、YouTube配信にて視聴：4名

○インターンシップⅠ報告会

- ◆趣 旨 マイスター科1年生が、就職を希望する業種でのインターンシップで学んだ内容を報告
- ◆日 時 令和6年12月3日（火）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ※インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族等、外部関係者
Web会議アプリZoomにて視聴：18名、YouTube配信にて視聴：6名

○卒業研究・卒業制作発表会

- ◆趣 旨 マイスター科2年生が2年間で学んだ知識と技術を活用し、「卒業研修・卒業制作」として行った研究や制作について発表
- ◆日 時 令和7年2月5日（水）9：00～16：30
- ◆場 所 国際園芸アカデミー 研修室
- ※ご家族等会場聴講5名、連携研究先企業、インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族、外部関係者等
Web 会議アプリ Zoom にて視聴：21名、YouTube 配信にて視聴：6名

○「開学 20 周年記念」活動成果報告会

◆趣 旨 花と緑の実践技術の修得に向けて、カリキュラムをどのように組み立て授業で伝えているかなどの教育姿勢を報告する。また、今年度は開学 20 周年を迎え、各コースで取り組んだ 20 周年記念事業や、ぎふグリーン・ライフフェスティバル 2025 関連の支援活動等について成果を報告する

◆日 時 令和 7 年 2 月 13 日（木） 13：15～16：30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修教育棟研修室

◆内 容 ・ 1 年間の振り返り報告
・ 各コースの 20 周年記念事業の取組み
・ 生涯学習講座開催実績、ぎふグリーン・ライフフェスティバル 2025 支援
・ 第 47 回技能五輪国際大会出場報告
本学学生（休学中）でもある福元健吾氏から、技能五輪世界大会に出場し、銀賞を受賞した取り組みを紹介

※連携研究先企業、インターンシップ受入れ先企業・団体、ご家族、外部関係者、来年度入学予定者等が聴講。

会場聴講：6 名、Web 会議アプリ Zoom にて視聴：13 名

YouTube 配信にて視聴：13 名

○教員企業研修報告会

◆趣 旨 教員 8 名が、花と緑の業界に関わる企業や教育機関等で研修した成果及び得られた知見等を報告

◆日 時 令和 7 年 3 月 7 日（金） 9：00～14：30

◆場 所 国際園芸アカデミー 研修教育棟研修室

※研修受入先、インターンシップ受入れ先企業・団体、本校学生、来年度入学予定者等が聴講。

会場聴講：2 名、Web 会議アプリ Zoom にて視聴：9 名

資料3-4 インターンシップ実施状況（令和6年度までの10年間）

各年度におけるインターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲの延べ派遣先企業等数

年 度	学 生	県 内	県 外	計
平成27年度	1年生	16	12	28
	2年生	17	17	34
	計	33	29	62
平成28年度	1年生	18	10	28
	2年生	16	15	31
	計	34	25	59
平成29年度	1年生	13	6	19
	2年生	24	22	46
	計	37	28	65
平成30年度	1年生	19	7	26
	2年生	23	24	47
	計	42	31	73
令和元年度	1年生	23	7	23
	2年生	15	42	57
	計	31	49	80
令和2年度	1年生	16	1	17
	2年生	21	24	45
	計	37	25	62
令和3年度	1年生	15	6	21
	2年生	18	17	35
	計	33	33	56
令和4年度	1年生	13	10	23
	2年生	14	26	40
	計	27	36	63
令和5年度	1年生	15	7	22
	2年生	12	40	52
	計	27	47	74
令和6年度	1年生	9	13	22
	2年生	20	19	39
	計	29	32	61
履修体系	インターンシップⅠ（必修）： 1年後期 10日間以上の実習 インターンシップⅡ（選択）： 1～2年（春季・夏季休暇等）7日間以上の実習 インターンシップⅢ（必修）： 2年後期 15日間以上の実習			

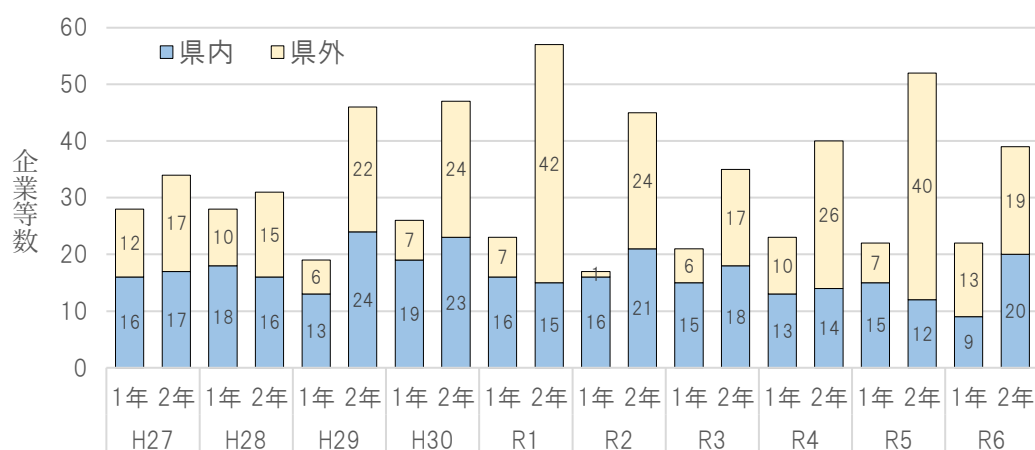


図1 インターンシップの実施状況

資料3-5 海外視察研修 （令和6年度）

視 察 国：シンガポール

研修期間：令和6年5月12日（日）～5月16日（木）

参 加 者：マイスター科2年生22名、引率教職員：2名

月 日	視 察 先 等
5月12日（日）	国際園芸アカデミー 発 ⇒ シンガポール 着
5月13日（月）	◎グリノロジー社視察 ・コンクリートビルの街に緑を増やすため、様々な角度から緑化を提案する企業 ○マーライオン公園（見学） ◎ガーデنز・バイ・ザ・ベイ視察 ・シンガポール政府が、シンガポールを“花園の中にある街”にしようと、広大な埋立て地を再開発したエリア <u>フラワードーム</u> ・カリフォルニアや南アフリカの涼しく乾燥した気候を再現したドーム（32,000を超える植物を植栽） <u>クラウド・フォレスト</u> ・亜熱帯熱帯山岳地域の雲霧林を再現したドーム ・世界最大級の人工屋内滝があり、空中遊歩道を巡りながら、世界各地から集められた植物を観賞 ○スペクトラ見学
5月14日（火）	◎スカイグリーン視察 ・世界で初めて成功した都市型垂直栽培農場 ○中華街（散策） ○スリ・マリアマン寺院（散策） ○パークロイヤル・オン・ピッカリング（外観のみ見学） ○オアシアホテル（外観のみ見学） ◎シンガポール植物園視察 ・広大な植物園で、南国ならではの珍しい植物を鑑賞できる ・世界最大規模のさまざまなランが展示されている国立蘭園視察 ○ナイトサファリ観光
5月15日（水）	◎終日 班別行動 A班 トムソンロード花市場・園芸店視察、市内の花販売店視察 B班 ジュロンレイクガーデン、ホートパーク視察 ◎複合商業施設JEWEL（見学） ・チャンギ空港内の大型複合商業施設内にある、シンガポール最大級の屋内庭園
5月16日（木）	シンガポール 発 ⇒ 国際園芸アカデミー 着

資料 3-6 特別講座 （令和 6 年度）

実施日	講 師	講座内容	参加者
令和 6 年 7 月 3 日	有限会社 LIBRA 代表取締役 平野 裕加里 氏	「コミュニケーションについて考える」 社会人として働く中で、相手に話す内容を正しく伝える情報伝達力は重要であり、コミュニケーション力について学ぶ。	1 年 20 人 教職員 8 人
令和 6 年 12 月 17 日	岐阜県国際交流員 （リトアニア） ヴェゲリーテ・アグネ 氏	「リトアニアの魅力：文化と植物」 聞いたことはあるけれど、どのような国かよく知らないリトアニアについて、面積や人口、特産物などの情報から、民族衣装や歌などの伝統文化や食事、四季の植物、樹木、ハーブの活用など、様々な観点から紹介。	2 年 21 人 1 年 20 人 教職員 11 人
令和 7 年 1 月 27 日	（一社）日本造園建設業協会 造園領域発展戦略委員会 女性活躍推進部会長 酒井 一江 氏 造園領域発展戦略委員会 副委員長 小立 亮 氏	「造園業における働き方 出前講座」 造園の仕事とはどのようなものかを解説し、社会人として働くこと、仕事に対する向き合い方などについて、参加学生・生徒との対話を通して理解を深めた。	造園緑化コース 1 年生 4 人 教職員 7 人 加茂農林高校 環境デザイン科 1 年生 38 人 教員 4 人

－ 3 教育活動 －

資料 3-7 実践教育フィールドの活用実績(ぎふワールド・ローズガーデン内)

○授業・実習

使用日	授業科目名	担当 教員	対象	計画	利用授業 時数	展示時間 数※	使用場所				備考
							花トピア 研修室	花トピア 販売展示 スペース	温室	実習 フィールド*	
2024/4/3 (水)	盆栽実習	相田	2年選択者18名	8	8		○		○		
2024/4/4 (木)	盆栽実習	相田	2年選択者18名	7	7		○		○		
2024/4/5～ 4/7	盆栽実習	相田	2年選択者18名			24		○			盆栽作品展示
2024/4/15 (月)	園芸装飾実習Ⅰ	吉田	1年 20名	4	4		○				園内の視察
2024/4/15 (月)	造園施工・管理実習Ⅲ	新井	2年選択者7名	4	4					○	
2024/4/17 (水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	4	4					○	
2024/4/19 (金)	フラワー装飾演習	林	2年花き装飾コース12名		4		○	○			
2024/4/22 (月)	装飾技術スキルアップ実習	吉田	2年花き装飾コース12名		4			○			
2024/4/23 (火)	生産マネージメント実習Ⅱ	臼田	2年花き生産コース3名		4			○			披露会展示販売準備
	装飾技術スキルアップ実習	吉田	2年花き装飾コース2名		4			○			披露会展示販売準備
2024/4/24 (水)	生産課題解決演習	臼田	2年花き生産コース3名	8	8			○			披露会展示販売
	フラワー装飾演習	林	2年花き装飾コース12名		2			○			披露会展示
2024/5/8 (水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	8	8		○			○	
2024/5/24 (金)	基礎育種学	前田	2年選択者11名	4	4		○				
2024/5/27 (月)	造園総合実習	新井	2年		4					○	
2024/5/31 (金)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	6	4					○	
2024/6/19 (水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者11名	4	6		○			○	
2024/6/21 (金)	装飾技術スキルアップ実習	吉田	2年花き装飾コース12名		4						花飾りメンテナンス
2024/6/17 ～6/26	フラワー装飾演習	林	2年花き装飾コース12名	16		72		○			制作作品展示9日間
2024/6/26 (水)	装飾技術スキルアップ実習	吉田	2年花き装飾コース2名		4						花と緑の連携授業補助
2024/6/26 ～7/3	フラワーデザイン実習Ⅰ	林	1年 20名	32		56		○			制作作品展示7日間
2024/7/16 (火)	栽培・生産論	臼田	1年 20名	4	4		○				
2024/7/26 ～7/28	フラワーデザイン実習Ⅰ	林	1年 20名	24		24		○			制作作品展示3日間
2024/5月	造園総合実習	新井		4							
2024/9/6 (金)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/10 (火)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/13 (金)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/18 (水)	花修景実習Ⅲ	新井	2年選択者 11名	8	8		○			○	
2024/9/20 (金)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	6		○			○	
2024/9/24 (火)	造園総合実習	新井	2年造園緑化コース7名	8	8		○			○	
2024/9/20 ～9/23	ウェディング実習	林	2年花き装飾コース12名	16		32		○			制作作品展示4日間
2024/10/2 (水)	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	1年造園緑化コース4名	4	4					○	
2024/10/22 (火)	花修景実習Ⅱ	新井 (相田)	1年 20名	4	4		○			○	
2024/10/25 (金)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		4						地球館装飾打合せ
2024/10/26 (土)	イベント販売実習	前田	1年 20名	8	8						場所は雅周辺の芝生広場
2024/10/27 (日)											
2024/10/26 (土)											
2024/10/27 (日)	卒業研究・卒業制作（花き生産コース）	臼田	2年生産コース3名	8	8						
2024/11/7 ～11/9	フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者	24		24		○			ハーバリウム作品展示3日間
2024/11/7 (木)	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	新井	2年造園緑化コース7名	8			○			○	
2024/11/7 (木)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		4						地球館装飾打合せ
2024/11/12 (火)	卒業研究・卒業制作		2年全員	8	8				○	○	20周年記念式典
2024/11/18 (月)	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	新井	2年造園緑化コース7名	4			○			○	
2024/11/19 (火)	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	新井	2年造園緑化コース7名	4			○			○	
2024/11/21 (木)	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	新井	2年造園緑化コース7名	4			○			○	
2024/11/28 (木)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		8						地球館装飾
2024/11/29 (金)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		8						地球館装飾
2024/11月中旬 ～12月上旬	卒業研究・卒業制作（造園緑化コース）	相田	2年造園緑化コース	44							44コマ実施予定
2024/12/4 (水)	花修景実習Ⅱ	新井	1年 20名	8	8		○			○	
2024/12/6 (金)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		4						地球館装飾メンテナンス
2024/12/12 (木)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		8						地球館装飾メンテナンス
2024/12/12 ～12/17	フラワーデザイン実習Ⅱ	林	1年選択者	32		48		○			リース、スワッグ作品展示6日間
2024/12/19 (木)	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	2年選択者	4							
2024/12/20 (金)	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	吉田	2年装飾コース2名		4						地球館装飾メンテナンス
2024/12月	卒業研究・卒業制作（花き装飾コース）	吉田	2年装飾コース	32							制作作品展示4日間
				計	397	217	280	※展示1日＝8時間とする			
				R6WRG利用時間数 合計		497					

○生涯学習講座

使用日	講座名	担当教員	対象	計画	利用授業 時数	花トピア 研修室	花トピア 研修室	花トピア 販売展示 スペース	温室	実習 フィールド*	備考
2024/8/7 (水)	【親子限定】親子で楽しく！ 多肉植物のアレンジメントづくり	教務課 吉田	6名（子供3名＋大人3名）		2		○				学生アシスタント4名
2024/8/7 (水)	オトナの多肉植物講座 多肉植物のアレンジメントづくり	教務課 吉田	20名		2		○				学生アシスタント4名
				合計	4						

○花と緑の連携授業

使用日	授業内容	担当教員	対象	計画	利用授業 時数	花トピア 研修室	花トピア 研修室	花トピア 販売展示 スペース	温室	実習 フィールド*	備考
2024/6/26 (水)	季節の花を使ったアレンジメント	林	郡上高等学校園芸科学科2年20名		4		○				アレンジメント制作
				合計	4						

資料 4-1 進路の状況 （令和 6 年度卒業生）

（令和7年3月）

分 類	就 職 先	本社等 所在地	人数	備考 (勤務地)
生花店・園芸店・ 装飾	株式会社長良園芸	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社ホームセンターバロー	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社天翔苑	岐阜県	1	岐阜県
	フローラント	静岡県	1	静岡県
	株式会社花松	大阪府	1	大阪府
	株式会社坪井花苑	愛知県	1	愛知県
	株式会社佐藤園芸	長野県	1	長野県
	奉花園株式会社	三重県	1	三重県
	株式会社さがみ商事	長野県	1	長野県
	株式会社パーク・コーポレーション (青山フラワーマーケット)	東京都	2	東京都
	株式会社花泉	大阪府	1	大阪府
造園設計・施工管 理	昭和造園土木株式会社	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社岐東庭園	岐阜県	1	岐阜県
	株式会社三五郎園	愛知県	1	愛知県
	ヤハギ緑化株式会社	愛知県	1	愛知県
	大島造園土木株式会社	愛知県	1	愛知県
	株式会社庭樹園	大阪府	1	大阪府
公園管理・観光	グリーンワークス株式会社 (ぎふワールド・ローズガーデン管理グループ)	岐阜県	1	岐阜県
公務員・団体職員	岐阜県職員（農学）	岐阜県	1	岐阜県
福祉関係	医療法人白水会白川病院	岐阜県	1	岐阜県
研修（国内）	あきとちフラワー	岐阜県	1	岐阜県
計			22	

卒業生 22 名中 就職希望者 21 名の就職率 100%

資料 4-2 卒業時の進路の状況 （マイスター科令和 6 年度卒業生までの累計）

進路区分	進路先内訳	人数（人）			割合	
			県内	県外	県内	県外
起 業	起業(就農)	1	1	0	100%	0%
	起業(園芸)	1	1	0	100%	0%
	小 計	2	2	0	100%	0%
就 職	生産法人等	28	14	14	50%	50%
	市場流通等	5	2	3	40%	60%
	生花店・園芸店・装飾	161	63	98	39%	61%
	造園設計・施工	80	28	52	35%	65%
	公園管理/観光	28	11	17	39%	61%
	福祉関係等	4	4	0	100%	0%
	公務員・団体職員	29	13	16	45%	55%
	農業高校実習助手	4	4	0	100%	0%
	ボランティア活動	3	2	1	67%	33%
	その他	4	2	2	50%	50%
	小 計	346	143	203	41%	59%
進学・研修	進学	13	7	6	54%	46%
	研修(海外／国内)	4	1	3	25%	75%
	小 計	17	8	9	47%	53%
未 定		12				
合 計		377				

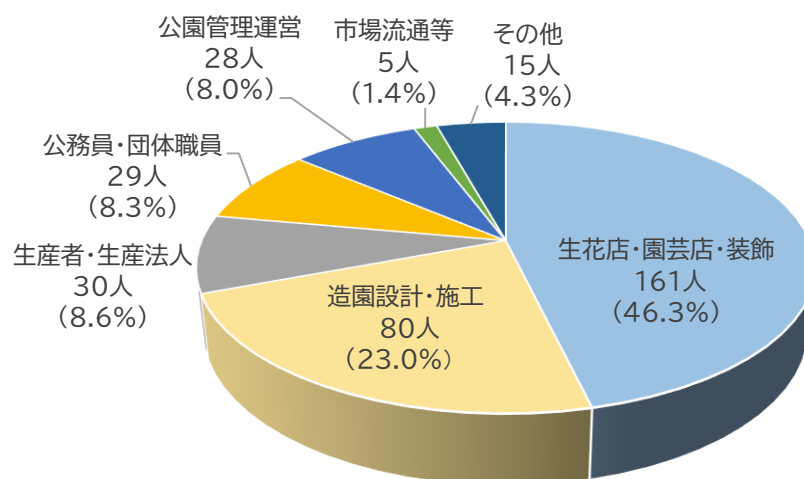


図 1 卒業時の進路状況（起業・就職した卒業生）

資料4-3 資格の取得状況（令和6年度、令和5年度）

資格の名称 (認定機関)			令和6年度			令和5年度		
			受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
技能検定 (厚生労働省)	3級 造園 学科		5	5	100%	9	8	89%
	〃 実技		4	4	100%	8	8	100%
	2級 造園 学科		6	5	83%	4	3	75%
	〃 実技		6	3	50%	4	1	25%
	3級 室内園芸装飾 学科		7	7	100%	10	10	100%
	〃 実技		7	7	100%	10	10	100%
	2級 室内園芸装飾 学科		1	0	0%	1	1	100%
	〃 実技		1	1	100%	1	1	100%
	3級 フラワー装飾 学科		10	10	100%	7	7	100%
	〃 実技		13	13	100%	7	7	100%
	2級 フラワー装飾 学科		11	11	100%	9	9	100%
	〃 実技		11	10	91%	9	8	89%
施工管理技術検定 (国土交通省)	2級 造園 学科	※在学中は学科のみ受検可	4	2	50%	10	5	50%
初級園芸福祉士			14	14	100%	14	14	100%
池坊 入門 初伝			16	16	100%	13	13	100%
岐阜県農薬管理指導士			3	3	100%	1	1	100%
小型車両系建設機械運転※			－	－	－%	10	10	100%
刈払機取扱作業者※			10	10	100%	－	－	－%
フォークリフト運転技能			0	0	－%	0	0	－%
ビオトープ管理士			0	0	－%	0	0	－%
伐木等の業務（特別教育）			0	0	－%	0	0	－%
玉掛け技能			0	0	－%	0	0	－%
小型移動式クレーン運転技能			0	0	－%	0	0	－%
日商簿記検定 3級			0	0	－%	0	0	－%
エクステリアプランナー 2級			0	0	－%	0	0	－%

※安全講習が隔年で実施される

資料4-4 競技大会・コンペティション等の参加状況（令和6年度）

名 称	開催月	参加者
第19回若年者ものづくり競技大会 （造園職種）	7-8月	1年生1名
第35回緑の環境プラン大賞 （ポケット・ガーデン部門）	応募 6月	造園緑化コース2年1名
第62回技能五輪全国大会 （造園職種）	11月	造園緑化コース2年1名
第51回全国造園デザインコンクール （大学・一般の部／実習作品部門）	1月	造園緑化コース2年 （7名による団体で 4作品参加） 造園緑化コース2年1名 （個人としての参加）
第12回岐阜県域農林業教育システム 研究発表交流会	1月	花き生産コース2年3名

資料4-5 入賞・表彰等の状況（令和6年度）

行 事 名 （部門等）	表彰の内容	受賞者の学科・学年
第45回岐阜県職業能力開発促進大会 （技能競技大会成績優秀者）	◆岐阜県職業能力開発協会長表彰 ・第19回若年者ものづくり競技大会成績優秀	マイスター科1年1名
第19回若年者ものづくり競技大会 （造園職種）	◆銅賞	マイスター科1年1名
緑の環境プラン大賞	◆コミュニティ大賞 ポケット・ガーデン部門	造園緑化コース2年1名
第51回全国造園デザインコンクール （一般社団法人 日本造園建設業協会）	◆佳作 大学・一般の部 実習作品部門	造園緑化コース2年1名

資料5-1 奨学金等の状況

(1) 国際園芸アカデミー独自の奨学金

支援団体		大垣共立銀行	十六銀行	昭和造園土木株式会社	I MA	株式会社 岐阜庭園
支援対象		1 年次に決定	1 年次に決定	1 年次に決定	1 年次に決定	1 年次に決定
採用人数		1 名以内	1 名以内	1 名以内	1 名以内	1 名以内
支援方法		給付	給付	給付	給付	給付
支援金額		年間 55,800 円	年間 55,800 円	年間 60,000 円	年間 50,000 円	年間 60,000 円
支援期間		2 年間	2 年間	2 年間	2 年間	2 年間
給付者数	令和 2 年度	1 人	1 人			
	令和 3 年度	1 人	1 人			
	令和 4 年度	1 人	1 人			
	令和 5 年度	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
	令和 6 年度	1 人	1 人	1 人	1 人	
延べ人数※		21 人	21 人	2 人	2 人	1 人

※延べ人数は、平成 16 年度開学からの給付者数の合計

(2) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

支援団体		独立行政法人日本学生支援機構		
支援対象		全学生		
採用人数		日本学生支援機構の基準による選考		
支援方法		貸与(無利子)	貸与(有利子)	給付
支援金額		＜自宅＞ 月額 2～4.5 万円 ＜自宅外＞ 月額 2～5.1 万円	月額 2～12 万円の うち 1 万円単位で 選択	＜自宅＞ 月額 2 万円 ＜自宅外＞ 月額 3 万円
支援期間		2 年間	2 年間	2 年間
給付者数	平成 27 年度	0 人	2 人	
	平成 28 年度	0 人	3 人	
	平成 29 年度	3 人	2 人	
	平成 30 年度	4 人	5 人	
	令和元年度	1 人	1 人	1 人
	令和 2 年度	1 人	4 人	5 人
	令和 3 年度	1 人	3 人	0 人
	令和 4 年度	1 人	1 人	5 人
	令和 5 年度	3 人	2 人	1 人
	令和 6 年度	3 人	4 人	5 人
延べ人数※		28 人	52 人	17 人

※延べ人数は、平成 16 年度開学からの給付者数の合計

(3) 学生支援金

※ 令和6年度 学生支援金の実績なし

＜参考＞学校支援金の支援基準

支援方法	企業等から受けた寄附を活用し、支援対象者へ給費	
支援対象	1,2年生	
支援対象者 及び 一人当たり 上限額	① 学業への意欲が高いと認められる者	25,000 円
	② 海外視察研修への参加者	50,000 円
	③ 資格検定の合格者	25,000 円
	④ 専門分野の全国大会参加者	100,000 円
	⑤ その他学長が認める者	50,000 円

＜参考＞学校支援金支給実績（R1～R5）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
寄附額 (寄附者)	200 万円 ((株)岐阜造園)	200 万円 ((株)岐阜造園)	100 万円 ((株)岐阜造園)	100 万円 ((株)岐阜造園) 5 万円 (ニッポー工業(株))	100 万円 ((株)岐阜造園)
学生への 給費額	1,999,700 円 延べ 159 名	1,994,400 円 延べ 146 名	999,980 円 延べ 141 名	1,049,180 円 延べ 158 名	999,098 円 延べ 125 名

(4) 就農準備資金（制度開始から令和6年度までの実績）

（平成24年度から令和3年度までは、農業次世代人材投資資金）

支援団体	(一社)岐阜県農畜産公社 他	
支援対象	就農を予定している学生	
支援方法	給付	
支援金額	150 万円/年	
支援期間	最長2年間	
本校における認定件数	H24年度 0件 H25年度 2件（岐阜県、福井県※） H26年度 2件（岐阜県、愛知県※） H27年度 1件（岐阜県） H28年度 0件 H29年度 0件 H30年度 0件 R元年度 0件 R2年度 0件 R3年度 1件（岐阜県） R4年度 0件 R5年度 0件 R6年度 0件	

※) 認定及び給付は学生の出身県で行われる

(5) ぎふ農業経営者育成発展支援事業（制度開始から令和6年度までの実績）

支援団体	県内市町村
支援対象	就農を予定している学生
支援方法	給付
支援金額	100万円以内/年
支援期間	最長1年間
本校における認定件数	R4年度 1件（七宗町） R5年度 0件 R6年度 0件

資料5-2 寄付金、寄付物品（令和6年度）

寄付者	寄付金、寄付物品	時期
可児造園協同組合	ビブス：55着	令和6年5月
ヤハギ緑化株式会社	気良石：2t 新クレオソート ケズリ丸太5本、ケズリ杭10本	令和6年9月

資料5-3 休学者・退学者数、進級者数（令和6年度）

○ 休学者・退学者

入学年度	R2	R3	R4	R5	R6
休学	0	3	2	0	1
退学	1	3	3	0	0

○ 進級者

進級者	マイスター科1年生 20人／20人中（休学者を除く）
-----	-------------------------------

資料5-4 卒業生及び同窓会との連携 （令和 6 年度）

連携実績の具体的内容	人数、回数等
・ 非常勤講師への就任	卒業生 7 人
・ 「企業説明会」（7/2）において、卒業生が企業を代表して参加し、企業概要、仕事のやりがいについて説明	卒業生 14 人
・ 同窓会役員会（9/23）において、研修会及び総会開催にかかる打合せ	卒業生 2 人
・ 「花と緑の意見交換会」（9/25）と題し、企業等で活躍する卒業生が、1, 2 年生に向けて企業の概要、仕事のやりがいについて説明、意見交換	卒業生 6 人
・ 開学20周年記念式典に卒業生が出席し、同窓会長が代表して挨拶	卒業生 6 人
・ 式典に出席した同窓会員へ開学20周年記念誌を配布	
・ 式典の開催に併せ「同窓会総会・研修会」（11/12）を行い、卒業生が参加	卒業生 6 人
・ 各務原市との「合同企業説明会」（2/13）において、卒業生が企業を代表して参加し、企業概要、仕事のやりがいについて説明	卒業生 3 人

資料 6-1 施設・備品の整備改修（令和 6 年度）

施設・備品名等	金額（千円）	内 容
●工事 ・ 温室細霧冷房装置設置工事 ・ ガスメーター交換 ・ エアコン修繕 ・ 屋内照明設備改修工事 ・ 昇降機供用バッテリー取替修繕 ・ 案内板交換工事 ・ ブラインド交換工事 ・ 校庭整備改修工事 ・ 屋外照明設備改修工事 ・ 校舎改修工事 ・ 本館デッキ排水改修工事 ・ 保冷库の修繕 ・ 研修教育棟天井修繕工事 ・ 昇降機ドア基盤交換工事 ・ 光電式スポット型感知器取替修繕 ・ 温室被覆修繕 ・ ラインポンプ修繕	1,925 94 327 29,123 97 856 477 5,666 3,296 4,268 894 420 3,074 400 88 344 132	6号温室に設置 図書室及び実習室 LED化 研修室A、ホール、応接室 芝生張替え、トレリス交換 庭園灯、街灯 研修教育棟庇増設等 1号温室 4号温室
●備品購入 ・ マイクロバス ・ 小型貨物自動車 ・ スポットクーラー ・ CAD用パソコン ・ プロジェクター及びスクリーン ・ インパクトドライバ等 ・ 応接セット	7,590 2,638 85 385 306 162 491	1台購入 1台購入 1台購入 1式購入 1式購入 1式購入 1式購入

資料7-1 広報活動状況 及び 学生募集活動状況 （令和6年度）

(1) 広報活動状況

○広報ツールによるPR

- ・学校案内パンフレット 2,500部
- ・学校案内ポスター 150部
- ・学校案内チラシ 2,500部

＜主な配布先＞

県内高校、全国農業系高校、県内市町村、県内園芸・造園業者、卒業生就職先、インターンシップ先、公立図書館・植物園、県内J A 他

○ホームページ等の活用

ホームページにおいて、行事、授業の様子、学外活動など各種取組みを提供

トピックス記事 103件 教員ブログ 296件

公式 SNS（フェイスブック、インスタグラム）において各種情報を提供

フェイスブック 304件 インスタグラム 395件

＜主な内容＞

学校行事、入試概要、トピックス形式によるイベント情報、教員ブログ、生涯学習講座、キャンパスライフ、専攻コースの紹介

○プレスリリース実績（カッコ内:プレスリリース日） 全19件

- ・入学式（4/2）
- ・5月・6月学校見学会の参加者募集（4/12）
- ・国際園芸アカデミー実践教育フィールド開設披露会（4/19）
- ・海外視察研修報告会（5/22）
- ・開学20周年記念学園祭「なんじゃ祭」の開催について（5/31）
- ・国際園芸アカデミー企業説明会の開催について（6/24）
- ・国際園芸アカデミー特別講座の開催について（6/25）
- ・国際園芸アカデミー「オープンキャンパス」の参加者募集について（6/27）
- ・国際園芸アカデミー「秋の学校見学会」の参加者募集について（8/23）
- ・国際園芸アカデミー「花と緑の意見交換会」の開催について（9/20）
- ・第35回緑の環境プラン大賞ポケット・ガーデン部門で岐阜県立国際園芸アカデミーがコミュニティ大賞を受賞しました（10/16）
- ・国際園芸アカデミー「インターンシップ報告会」の開催（10/24）
- ・国際園芸アカデミー開学20周年記念式典について（11/7）
- ・国際園芸アカデミー「インターンシップ報告会」の開催（11/29）
- ・国際園芸アカデミー「卒業研究・卒業制作発表会」開催について（1/27）
- ・国際園芸アカデミー「開学20周年記念 活動成果報告会」の開催について（2/6）
- ・国際園芸アカデミー×各務原市 合同企業説明会の開催について（2/6）
- ・国際園芸アカデミー「春の学校見学会」の参加者募集について（2/10）
- ・令和6年度岐阜県立国際園芸アカデミー卒業式について（2/25）

○メディアの取材等を通じて掲載・放映された本学関連行事・取り組み等

(カッコ内：報道機関及び報道された日)

報道・掲載回数 24 件

- ・ 希望を胸に入学式 失敗を恐れず未来を創造 (日本農業新聞 4/11)
- ・ 来下知 1 日から学校見学会 (日本農業新聞 4/21)
- ・ 坪庭発想豊かに (「尾張でお庭展」出展) (中日新聞：尾張版 4/21)
- ・ 花き人材育成強化「実践教育フィールド」開設 (日本農業新聞 5/14)
- ・ 開学 20 周年記念 升寄せ植え (日本農業新聞 6/14)
- ・ 5 年ぶりの海外視察報告 (日本農業新聞 6/29)
- ・ 県内外の高校生見学や模擬授業 (オープンキャンパス) (日本農業新聞 8/23)
- ・ 国際園芸アカデミー秋の学校見学会 (日本農業新聞 9/5)
- ・ 緑の進路語り合う 農高 2 年生実習 (緑の学園) (日本農業新聞 9/27)
- ・ 技能五輪全国大会へ意欲十分 (技能五輪全国大会壮行会) (日本農業新聞 10/23)
- ・ 「緑の環境プラン大賞」コミュニティ大賞国際園芸アカデミー受賞 (岐阜新聞 10/31)
- ・ 就業体験の成果・学生が報告披露 (インターンシップⅢ報告会) (日本農業新聞 11/16)
- ・ フジバカマ収穫 スワッグ材料に 岐阜県関ケ原町 (日本農業新聞 11/17)
- ・ 国際園芸アカデミー開学 20 周年で式典 (開学 20 周年記念式典) (岐阜新聞 11/19)
- ・ 開学 20 年歩み回顧 岐阜県立国際園芸アカデミー (日本農業新聞 12/7)
- ・ 学生が就業体験 現場の学び披露 (インターンシップⅠ報告会) (日本農業新聞 12/24)
- ・ 都市緑化フェアへ 県民と花壇づくり (可児・ローズガーデン) (中日新聞 2/24)
- ・ 農の学び修めて旅立ち 培ったことを活かし困難を乗り越える (日本農業新聞 3/6)
- ・ 15～17 日の 3 日間 見学においでよ (学校見学会) (日本農業新聞 3/6)
- ・ 実践教育フィールド開設披露会 (ケーブル TV 可児 放送日：5/1～5/8)
- ・ 学校紹介・オープンキャンパス告知
(ぎふチャン「ぎふ県政ほっとライン」放送日：7/18, 7/23)
- ・ インターンシップⅢに取り組む学生の様子紹介 (ケーブル TV 可児放映 11/27～12/4、
ケーブルテレビ可児 YouTube チャンネル公開 1/23)
- ・ 卒業式 (日本農業新聞 3/6)
- ・ 卒業式 (ケーブル TV 可児放映 3/12～19)

○メディア及び広報媒体を活用した学校行事予告

オープンキャンパス ・ 日本農業新聞 (7/18、10/17)

・ WE B 広告 (7/3～7/30)

学校見学会 ・ 日本農業新聞 (4/21、3/6)

受験情報 ・ 動物・自然・農業・海洋・環境・バイオ・化学・造園・フラワー系をめざす人へ

※岐阜県広報 ・ オープンキャンパス (1 回)、学校見学会 (3 回)、入試 (1 回)

○在学生から出身高校へのメッセージ発信

本校の学生が、出身高校向けにオープンキャンパス、学校見学会チラシを作成し P R
1 9 校 (県内 6 校、県外 1 3 校) に対して、4 月・7 月・1 月に発送

○各種イベント参加による学校PR活動

5か所

- ・ 本学で生産した鉢花、苗物を販売「イベント販売実習」
10月26日（土）、27日（日） んふワールド・ローズガーデン（可児市）
- ・ 岐阜県農業フェスティバルにて、本学パネル・パンフレット等を設置
10月26日（土）、27日（日） 岐阜県庁周辺（岐阜市）
- ・ JR岐阜駅周辺賑わい創出イベント「花で彩るクリスマス」において、花かざり展示
12月18日（水）～25日（水） アクティブG（岐阜市）
- ・ 第73回関東東海花の展覧会岐阜県ブースにて、本学パンフレット等を設置
1月31日（金）～2月2日（日） サンシャインシティ文化会館（東京都）
- ・ 「フラワーバレンタイン」において、本学学生が装飾したブーケを提供
2月14日（金） 県庁（岐阜市）、美濃加茂市庁舎（美濃加茂市）
可児市庁舎（可児市）

（2）学生募集活動状況

○高等学校への募集活動

訪問校数（延べ）

令和6年度 98校

（県内農業高校17校、県内非農業高校38校、県外高校43校）

令和5年度：92校

○高校進路ガイダンスへの参加

令和 6 年度参加回数：20 回

前年度：24 回

参加日	会 場	実施形態	参加生徒数	対応者
4/18	岐阜県立恵那農業高校	学校説明	6	学長
5/8	郡上市総合文化センター	進路相談	0	学長
5/17	岐阜県立飛騨高山高校	学校説明	3	学長
6/20	大阪府立園芸高校	学校説明	3	学長
6/20	愛知県立渥美農業高校	系統別説明会	4	村瀬
6/24	岐阜県立大垣養老高校	学校説明	1	学長
6/26	福井市フェニックス・プラザ	進路相談	1	学長
7/5	関市立関商工高校	進路相談会	1	臼田
7/9	高岡市ウィング高岡(富山県)	進路相談	2	学長
7/17	岐阜県立恵那農業高校	進路ガイダンス	1	吉田
9/11	岐阜県立飛騨高山高校	分野別説明会	50	村瀬
9/26	愛知県立稲沢緑風館高校	進路相談	5	学長
10/8	愛知県立稲沢緑風館高校	進路相談	6	学長
10/9	岐阜県立大垣養老高校	進路相談	8	学長
11/6	岐阜県立大垣養老高校	分野別説明会	3	前田
11/28	岐阜県立岐阜農林高校	進路相談	4	学長
12/18	岐阜県立恵那農業高校	進路相談会	2	吉田
12/18	岐阜県立大垣養老高校	学校説明	6	学長
1/23	岐阜県立恵那農業高校	学校説明	2	学長
2/10	岐阜県立岐阜農林高校	学校説明	24	学長
計 132				

○オープンキャンパス

- ・内 容 学校説明、模擬授業体験、施設案内
- ・実 施 日 8月4日(日)・5日(月) 参加者29名(同伴者等18名)

○学校見学会

- ・内 容 学校説明、施設案内
- ・実 施 日 5月 1日(水)～4日(土・祝) 参加者 7名(同伴者等 8名)
- 6月 8日(土) 参加者16名(同伴者等16名)
- 9月15日(日)～17日(火) 参加者11名(同伴者等 2名)
- 11月2日(土) 参加者 4名(同伴者等 4名)
- 3月15日(土)～17日(月) 参加者16名(同伴者等17名)

<農業高校を対象とした学校見学会>

- 5月13日(月) 加茂農林高等学校 園芸流通科 2年生 39名
- 6月26日(水) 郡上高等学校 園芸科学科 2年生 20名
- 10月2日(水) 恵那農業高等学校 園芸科学科 2年生 29名
- 10月2日(水) 加茂農林高等学校 環境デザイン科 2年生 37名
- 1月27日(月) 加茂農林高等学校 環境デザイン科 1年生 38名

○緑の学園

- ・趣 旨 岐阜県農業高等学校校長会及び農業大学校と連携し、進路を考える時期にある農業系高等学校の2年生を対象に農業・園芸への興味と関心を深め、就農・就業への意欲を高めることを目的として開催。
- ・実 施 日 9月10日（火）
- ・参加人数 2年生33名
- ・参 加 校 岐阜農林高等学校、大垣養老高等学校、郡上高等学校、加茂農林高等学校、阿木高等学校、恵那農業高等学校、飛騨高山高等学校
- ・内 容 学校紹介、体験学習、農業大学校・国際園芸アカデミー卒業生との交流

資料 7-2 入学試験の実施状況

令和 6 年度（令和 7 年度入学）実施状況

（令和 7 年 3 月）

学科	試験区分		試験日	試験科目	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
マイ ス タ ー 科	推 薦 入 試		10/16(水)	小 論 文 面 接	20名 (定員)	28	27	23	21
	一般 入試	第1回	11/20(水)	選択科目		9	9	2	2
		第2回	—	小 論 文		—	—	—	—
		第3回	—	面 接		—	—	—	—
	外国人留学生		—	英語・小論文・面接	若干名	0	—	—	—
マイスター科 計						37	36	25	23

マイスター科入試について：

- ・令和 6 年度から、推薦入試のⅠ（県内）・Ⅱ（県外）の区分を廃止
- ・選択科目は、「英語コミュニケーションⅠ」、「生物基礎」、「農業と環境」から 1 科目選択
- ・一般入試（第 1 回）を実施した時点で募集定員を満たしたため、第 2 回及び第 3 回は実施していない
- ・外国人留学生入試については、令和 6 年度出願者なし

試験区分	試験日	試験科目	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
研 究 生	—	面 接	若干名	0	—	—	—

- ・令和 6 年度は、研究生の出願なし

試験区分	試験日	試験科目	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
科目等履修生	—	担当教員との 面談	若干名	2	2	2	2

資料7-3 学生の入学・卒業状況

(1) マイスター科 (令和7年3月)

(単位：人、％)

入 学 生 の 状 況							退 学 等	卒 業 生 の 状 況					
入 学 年 度	定 員	入 学 実 績	出身地別		県内外率			卒 業 実 績	進 路 先 地 域 区 分			県内外率 (%)	
			県内	県外	県内	県外			県内	県 外	未定	県内	県外
H16	20	26	20	6	77%	23%	4	22	12	10	0	55%	45%
H17	20	19	15	4	79%	21%	3	16	10	6	0	63%	37%
H18	20	22	14	8	64%	36%	2	20	12	8	0	60%	40%
H19	20	22	17	5	77%	23%	1	21	10	10	1	50%	50%
H20	20	15	13	2	87%	13%	0	15	8	7	0	53%	47%
H21	20	19	11	8	58%	42%	2	17	9	8	0	53%	47%
H22	20	23	14	9	61%	39%	2	21	6	13	2	32%	68%
H23	20	19	9	10	47%	53%	3	16	6	8	2	43%	57%
H24	20	14	6	8	43%	57%	2	12	4	8	0	33%	67%
H25	20	22	14	8	64%	36%	1	21	7	14	0	33%	67%
H26	20	20	10	10	50%	50%	2	18	8	7	3	53%	47%
H27	20	19	11	8	58%	42%	3	16	6	10	0	38%	62%
H28	20	22	11	11	50%	50%	0	22	9	13	0	45%	55%
H29	20	19	12	7	63%	37%	0	19	6	13	0	32%	68%
H30	20	26	11	15	42%	58%	2	24	9	15	0	38%	62%
R 1	20	20	10	10	50%	50%	0	20	6	14	0	30%	70%
R 2	20	17	10	7	59%	41%	2	15	5	8	2	38%	62%
R 3	20	23	14	9	61%	39%	3	20	6	14	0	30%	70%
R 4	20	23	10	13	43%	57%	3	20	4	14	2	22%	78%
R 5	20	22	12	10	55%	45%	0	22	9	13	0	41%	59%
R 6	20	21	7	14	33%	67%							
合計	420	433	251	182	58%	42%	35	377	152	213	12	42%	58%

(2) 研究生 (平成23年度から受入体制を明確化)

入学年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
研 究 生	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 科目等履修生 (平成18年度から受入体制を明確化)

入学年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
科目等履修生	1	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	2

資料 8-1

岐阜県立国際園芸アカデミー内部質保証の基本方針及び実施体制

岐阜県立国際園芸アカデミーは、本学学則第1条に掲げる目的及び使命の実現に向け、内部質保証を恒常的に機能させることを目的として、内部質保証の基本方針及び実施体制を定める。

1. 内部質保証の基本方針

本学の基本理念や教育目標に基づいて、教育研究活動その他の諸活動に関する自己点検・評価を実施し、その結果を検証し、改善に結び付けることにより、教育研究の質を継続的に向上させる。この仕組みを構築し、実質化させることを基本方針とする。

2. 内部質保証の実施体制

内部質保証を推進するための組織は、内部質保証の客観性を担保すること及び点検・評価、検証、改善の仕組みの適切化の観点から、「内部質保証推進委員会」と「自己点検・評価委員会」の2組織を置くこととする。

① 内部質保証推進委員会

自己点検・評価結果の点検、改善事項の調整、結果の公表を担い、内部質保証推進に責任を負う組織として位置付ける。

② 自己点検・評価委員会

自己点検・評価の取りまとめ、自己点検・評価報告書の作成及び改善計画、改善結果作成を行う組織とする。

「内部質保証推進委員会」及び「自己点検・評価委員会」については別に定める。

内部質保証推進委員会 委員

役職
学長（委員長）
副学長
教授
教授
教務課長

自己点検・評価委員会 委員

役職
教務課長（委員長）
花き生産コース 主任
花き装飾コース 主任
造園緑化コース 主任
管理調整係長
教務係長

資料 8-2

岐阜県立国際園芸アカデミー アセスメント・ポリシー

内部質保証推進委員会

制定 令和5年3月28日

改正 令和6年8月28日

岐阜県立国際園芸アカデミーは、学修成果の評価に関する方針として、アセスメント・ポリシーを以下のように定める。

(目的)

1. 岐阜県立国際園芸アカデミーは、ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)の3つの方針に基づく教育の質保証の活動とその結果について、点検・評価し、必要な改善を実施することにより、教育・研究水準の向上と教育・研究活動の活性化を図る。

(評価指標と評価の実施)

1. 学修成果の評価指標は、①機関(学校)レベル、教育課程(マイスター科)レベル ②授業科目レベルの2段階及び㉑入学時、㉒在学時、㉓卒業時・卒業後の3区分で管理する(表1)。
2. 1の評価指標について、アセスメント・チェックリストに基づいて評価を実施する。

(評価及び改善に繋げる体制)

1. アセスメント・チェック実施者は、評価指標ごとに実績をとりまとめ、分析を行い、改善方策案を作成し、内部質保証推進委員会に報告する。
2. 内部質保証推進委員会は、報告された改善方策案の適切性を評価し、改善方策の承認を行う。また、各評価指標を分析、評価し、学修成果の総括的評価を行う。
3. 実施者は、承認を受けた改善方策に基づき、改善を実施する。
4. 内部質保証推進委員会は、改善結果の検証及び3つの方針の検証を行う。

表1 学修成果の評価指標

	㉑入学時	㉒在学時	㉓卒業時・卒業後
① 機関(学校)レベル 教育課程(マイスター科)レベル	・筆記試験結果 ・調査書の精査 ・志望動機分析(志願理由書) ・入試面接の審査結果	・GPA ・修得授業時数 ・資格・免許取得状況 ・ボランティア活動実績 ・退学率・休学率 ・進級率	・卒業時アンケート ・卒業率 ・就職率・進学率 ・卒業生アンケート
② 授業科目レベル		・授業評価アンケート ・インターシップ評価 ・成績評価分布 ・授業時数修得者数	

国際園芸アカデミー アセスメント・チェックリスト

2024.8.28改正

		No.	評価指標	実施時期	実施頻度	対象	評価項目	評価手法	実施者	結果の活用方法
① 機 関 （ 学 校 ） レ ベ ル ・ 教 育 課 程 （ マ イ ス タ ー 科 ） レ ベ ル	㉑ 入 学 時	1	・筆記試験結果 ・調査書の精査 ・志望動機分析 （志願理由書） ・入試面接の審査結果	3月	年1回	新1年生	筆記試験、調査書、志願理由書、 入試面接審査の結果（得点）	筆記試験/調査書/ 志願理由書/入試面 接審査	入試委員 会	試験科目・配点等の見直し
				3月	年1回	全学年	筆記試験、調査書、志願理由書、 入試面接審査の結果（得点）とそ の後の通算GPA、通算修得授業時 数、退学休学状況等との関係	筆記試験/調査書/ 志願理由書/入試面 接審査/通算GPA/ 通算修得授業時数/ 退学休学状況	入試委員 会	試験科目・配点等の見直し
	㉒ 在 学 時	2	・G P A ・修得授業時数	10月・3月	半期ごと	全開講科目	通算GPA、通算修得授業時数	各科目のシラバス に記載された評価 手法	自己点 検・評価 委員会	学年毎の通算GPA平均値、通算修得授業 時数平均値を確認し、カリキュラムや授 業科目を改善
		3	・資格・免許取得状況	10月・3月	半期ごと	全学年	技能検定(園芸装飾、フラワー装 飾、造園)、造園施工管理技士、初 級園芸福祉士、その他	受検結果	総務委員 会	対策授業の点検や支援体制の見直し
		4	・ボランティア活動実績	10月・3月	半期ごと	全学年	ボランティア活動内容、実績	ボランティア活動 実績	総務委員 会	ボランティア活動の点検や支援体制の見 直し
		5	・退学率・休学率 ・進級率	3月	年1回	全学年	退学率・休学率とその理由、進級 率	資料	自己点 検・評価 委員会	学年毎の退学率・休学率、進級率を確認 し、改善を実施
	㉓ 卒 業 時 ・ 卒 業 後	6	・卒業時アンケート	3月	年1回	2年生	卒業時アンケート項目	アンケート調査	教務委員 会	卒業時に求める専門的能力、教養的能力 が身につけているか学生の自己評価を確認 し、カリキュラム及び授業科目を改善
		7	・卒業率 ・就職率・進学率	3月	年1回	卒業生	卒業率、就職率・進学率	資料	自己点 検・評価 委員会	学年毎の卒業率、就職率・進学率を確認 し、改善を実施
		8	・卒業生アンケート	3月	年1回	既卒生	卒業生アンケート項目（学修成果 と現在の状況等）	アンケート調査	教務委員 会	身につけた専門的能力、教養的能力につ いて、卒業後のキャリアへの影響を確認 し、カリキュラム、授業科目及び生涯学 習講座を改善

－ 8 教育の内部質保証システム －

	No.	評価指標	実施時期	実施頻度	対象	評価項目	評価手法	実施者	結果の活用方法
⑥ 在学時	9	・授業評価アンケート	10月・3月	半期ごと	全開講科目	アンケート評価項目	アンケート調査	教務委員会	成績評価結果と授業評価アンケート結果を確認し、授業科目の改善実施 カリキュラム全体についても確認し、見直しや改善を実施
	10	・インターンシップ評価	3月	年1回	インターンシップ 受入企業等	インターンシップ評価票 評価項目	インターンシップ評価	教務委員会	意見・要望への対応 業界で必要としている人材、技能、資格等について、授業科目に反映
	11	・成績評価分布 ・授業時数修得者数	10月・3月	半期ごと	全開講科目	成績評価分布、授業時数修得者数	各科目のシラバス に記載された評価 手法	自己点 検・評価 委員会	科目毎の成績評価分布、授業時数修得者数を確認し、カリキュラムや授業科目を改善

資料9-1 収入と支出の状況 （令和6年度までの10年間）

(1)収入

（単位：千円）

項 目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
使用料・手数料	8,177	7,738	9,100	8,204	8,122	8,038	7,677	8,604	8,109	8,755
生産物売払収入	3,107	2,662	2,810	2,366	2,282	1,757	1,891	1,847	1,857	1,666
寄附金					2,000	2,000	1,000	1,050	1,198	
その他	653	270	496	31	31	227	32	83	104	114
計	11,937	10,670	12,406	10,601	12,435	12,022	10,600	11,584	11,268	10,535

※令和6年度は決算見込み額

(2)支出

（単位：千円）

項 目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人件費	134,276	142,888	147,815	148,754	154,434	149,767	152,194	147,791	160,782	159,707
運営・管理・設備費等	35,147	89,896	62,815	53,601	51,311	43,258	32,470	46,630	57,517	110,261
計	169,423	232,784	210,630	202,355	205,745	193,025	184,664	194,421	218,299	269,968

※令和6年度は決算見込み額

資料10-1 花と緑の連携授業 （令和6年度）

実施日	高校名	学科・学年	人数	内容	担当 教員
5/13	加茂農林高等学校	園芸流通科 2年	39	学校見学会 「花き生産実習」授業体験	臼田 前田
6/19	誠信高等学校	学習部 －	22	働く人のための、労働法の基本 を知ろう	佐藤
6/21	郡上高等学校	園芸科学科	3	園芸福祉入門 ～アロマテラピーとエアフレッ シュナー作り～	相田 前田
6/26	郡上高等学校	園芸科学科 2年	20	季節の花を使った商品づくり (アレンジメント)	林 村瀬
7/10	恵那農業高等学校	園芸科学科 3年	31	花束制作（スパイラル）	林 村瀬
7/25	阿木高等学校	総合生活科 1-3年	22	季節の花を使った商品づくり (ハーバリウム)	林
10/2	恵那農業高等学校	園芸科学科 2年	29	アシストを使った花束の制作	吉田 林 村瀬
10/2	加茂農林高等学校	環境デザイン科 2年	37	石組み実習 『ミニ枯山水庭園をつくろう』	新井
10/11	郡上高等学校	園芸科学科 3年	6	トルコギキョウの交雑育種と切 花の鮮度保持	前田
12/5	岐阜農林高等学校	生物工学科 2年	40	マナーリテラシーを学ぼう (生活費と給料)	佐藤
1/15	郡上高等学校	園芸科学科 2年	20	季節の花を使った商品づくり (ハーバリウム)	林
1/27	加茂農林高等学校	環境デザイン科 1年	40	特別講義、学校見学会 「みどり」と快適な環境	今西
2/14	恵那農業高等学校	園芸科学科 2年	29	コサージュの制作	吉田

資料10-2 生涯学習講座 （令和6年度）

○ 一般向け講座

開催日	講 座 名	講師	募集定員 (人)	受講者数 (人)
7/21	ザ・メイキング「花束ができるまで」【親子限定】 ～切花の収穫から、花束づくりまで体験しよう～	臼田教授 林准教授	20	16
8/1	まるでお花の宝宝箱!? (有料) 【飛騨地区／高校生まで】 ～きらきら輝くハーバリウムを作ろう～	林准教授	20	14
8/7	親子で楽しく！多肉植物のアレンジメントづくり (有料) 【親子限定】	村瀬助教	20	6
8/7	オトナの多肉植物講座 (有料) ～多肉植物のアレンジメントづくり～	吉田准教授	20	20
9/24	園芸福祉でしあわせづくり ～レイズドベッドに花を植栽仕様～	相田教授	20	12
11/15	【実習あり】あなたのお庭をグレードアップ ～庭木剪定の基礎を学びましょう～	新井准教授	20	18
12/7	クリスマスアレンジメントづくり【親子限定／本学学生参加】 ～身近な植物で、メリークリスマス！～	林准教授	20	16
	小 計		140	102

※会場：8/2はJ Aひだ本店大会議室、その他は国際園芸アカデミー

○ 実務者向け講座

開催日	講 座 名	講師	募集定員 (人)	受講者数 (人)
6/21	公園の管理運営の実践講座	今西学長	—	2 (2)
7/19	道路空間緑化の管理実践講座	今西学長	—	中止
9/6	緑の法体系	今西学長	—	2 (2)
10/4	公園緑地に関する最近の動き	古澤顧問	—	4 (4)
4/11	園芸福祉サポーターフォローアップ講座①（種まき作業）	相田教授	10	5
5/16	園芸福祉サポーターフォローアップ講座②（鉢替え作業）	相田教授	10	8
6/20	園芸福祉サポーターフォローアップ講座③（定植作業）	相田教授	10	8
2/27	園芸福祉サポーターフォローアップ講座④（フォローアップ報告会）	相田教授	10	8
8/8	寄せ植え華道養成講座（上級講座）	臼田教授、吉田准教授	10	9
8/25	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花壇の植栽計画） <u>可児</u>	相田教授	25	26
8/28	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花壇の植栽計画） <u>各務原</u>	相田教授	25	29
9/6	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花壇苗づくり） <u>各務原</u>	前田准教授	25	30
9/8	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花壇苗づくり） <u>可児</u>	前田准教授	25	25
10/6	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花に適した土づくり） <u>可児</u>	臼田教授	25	23
10/11	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花に適した土づくり） <u>各務原</u>	臼田教授	25	28
11/8	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花の装飾） <u>各務原</u>	林准教授	25	27
11/10	ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座（花の装飾） <u>可児</u>	林准教授	25	25
8/8	花と緑のおさらい講座①（花の歴史編）	吉田准教授	25	14 (5)
10/9	花と緑のおさらい講座②（植物生理編）	前田准教授	25	2 (1)
11/14	花と緑のおさらい講座③（マナーリテラシー編）	佐藤准教授	25	2 (0)
	小 計		365	277 (14)

（ ）はオンライン参加者数（うち数）

※会場：国際園芸アカデミー

ぎふグリーン・ライフ推進員養成講座は、可児会場（国際園芸アカデミー）と
各務原会場（各務原公園）でそれぞれ開催

資料10-3 ボランティア活動 （令和 6 年度）

実施日	活動内容	活動場所	実施主体 (依頼元)	参加 学生数
4/22 (月)	関ヶ原開戦地景観整備事業におけるフジバカマ植栽作業	関ヶ原町 (町内休耕田)	関ヶ原ゼネラル・サービス株式会社	5 人
5/2 (土)	可児市花いっぱい運動・春植え花壇植え付け管理講習の補助	可児市 (下恵土地区センター)	可児市	2 人
5/12 (日)	「メディコスハーブガーデン講座」の管理作業、植栽のワークショップ補助	岐阜市 (みんなの森 ぎふメディアコスモス)	みんなの森 ぎふメディアコスモス	4 人
6/3 (月) 6/12 (水) 6/27 (月)	可児市議会会場を装飾するバラ鉢植えのラッピング 3 回合計 70 鉢	学内	可児市	延べ 32 人
6/15 (土)	初夏のぎふロードブレイヤー ぎふワールド・ローズガーデンでの剪定作業	可児市 (ぎふワールド・ローズガーデン)	可児市建設業連合会 可児造園協同組合	4 人
8/4 (日) 8/5 (月)	オープンキャンパス体験授業補助	学内	国際園芸アカデミー	20 人
8/21 (水)	緩和ケア施設内での園芸療法補助	県立多治見病院	県立多治見病院	2 人
9/10 (火)	緑の学園 体験授業補助	学内	国際園芸アカデミー	4 人
9/29 (日)	ぎふWRG東ゲート付近の花壇植栽	ぎふワールド・ローズガーデン	第 42 回全国都市緑化 ぎふフェア 実行委員会事務局	2 人
10/25 (金)	可児市花いっぱい運動・秋植え花壇の植え付け管理講習の補助	可児市 (やすらぎの森)	可児市	2 人
11/4 (月)	フジバカマを収穫体験、スワッグ制作体験の補助	関ヶ原町 (せきがはら人間村人間塾)	関ヶ原ゼネラル・サービス株式会社	5 人
11/6 (水)	花育授業フラワーアレンジメント体験補助	恵那市 (長島小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	7 人
11/17 (土)	桂ヶ丘秋祭りにおける花苗販売	可児市 (桂ヶ丘集会所)	桂ヶ丘まちづくり プロジェクト委員会	2 人
12/7 (土)	生涯学習講座講師	学内	国際園芸アカデミー	3 人
12/10 (火)	花育授業フラワーアレンジメント体験補助	可児市 (帷子小学校)	日本フラワーデザイナー 協会岐阜県支部	4 人
12/22 (日)	憩いの丘公園におけるワークショップ (バイオネストづくり)	可児市 (桂ヶ丘)	桂ヶ丘まちづくり プロジェクト委員会	1 人
2/12 (水)	フラワーバレンタイン花束制作 190 束	学内	岐阜県園芸特産振興会	21 人
2/14 (金)	フラワーバレンタイン 花束渡し	可児市 (可児市役所) 美濃加茂市 (美濃加茂市役所)	岐阜県園芸特産振興会	4 人
2/18 (火)	岐阜市畜産センター寄せ植え教室 アシスタント	岐阜市 (畜産センター)	昭和造園土木株式会社	2 人
2/20 (木) 2/23 (日)	ぎふワールド・ローズガーデン 北の大花壇植栽	ぎふワールド・ローズガーデン	第 42 回全国都市緑化 ぎふフェア 実行委員会事務局	延べ 9 人
3/9 (日)	「メディコスハーブガーデン講座」の管理作業、植栽のワークショップ補助	岐阜市 (みんなの森 ぎふメディアコスモス)	みんなの森 ぎふメディアコスモス	2 人
3/9 (日)	現代アートづくり	美濃加茂市 (清流里山公園)	ぎふ清流里山公園	2 人

資料11-1

「岐阜県立国際園芸アカデミー国際交流計画」(計画期間：令和4年度～令和8年度)の概要

令和4年9月

本学の概要

1 設置

- ・H16(2004)年4月開学
- ・学校教育法に基づく専修学校(修業年限2年)
- ・H30(2018)年2月職業実践専門課程認定

2 教育目標

「花と緑に関する高度な知識と技術を持ち、産業を現場で支える担い手として活躍する実務者の育成」

本学の国際交流の主な実績

1 モロッコ王国(ウジダ・アンガット府)

- ・本学職員による調査、指導【3回、延4人】
H20(2008)年、H22(2010)年、H24(2012)年
- ・本学への研修員受入れ【5回、延5人】
H21(2009)年、H22(2010)年、H23(2011)年、
H29(2017)年、R2(2020)年

2 フランス(ヴェルサイユ国立高等造園学校等)

- ・本学職員による調査【2回、延3人】
R元(2019)年、R4(2022)年
- ・本学への研修生受入れ【1回、2人】
R2(2020)年

3 中国(江西省)

- ・本学への研修員受入れ【2回、2人】
H22(2010)年、H23(2011)年

4 ベトナム(ゲアン省)

- ・本学への研修員受入れ【1回、2人】
H28(2016)年

本学の海外視察研修の実績

海外視察研修の概要

- ・2年生前期の必修授業(90時数)

<到達目標>

- 海外でフラワー、ガーデンの最新デザインを知る
- 海外の有名庭園、花き流通施設を知る
- 海外体験を通じて国際感覚を養う

実施回数：15回(H17(2005)～R元(2019))
R2～R4はコロナ対策のため国内視察

研修先国：14回、オランダ5回、フランス2回

学生総数：延べ267人

引率者数：延べ30人

主な視察先(代り)：チェルシーフラワーショー、
ウィズリーガーデン、キューガーデン

現状と課題

【現状】

- ・コロナ禍において外国人留学生、日本人学生の留学者数が激減
- ・国際市場開放等の中、コロナ禍において改めて国際交流・協力の重要性が再認識
- ・SDGsの教育目標実現のため持続可能な開発のための教育(ESD)の重要性が認識
- ・本学の国際交流実績が国際化に直接結びついていない。開学からの留学生が2人と少ない。

【本学の課題】

- ・園芸・造園の最先端であるヨーロッパ等において知識、技術、人材育成のノウハウを学ぶため、3つの課題解決が必要

①ヨーロッパ等の国々における教育機関等と本学とのネットワークを構築

②相互交流に係る合意を行い、合意後は学生の派遣及び研修生の受入れ等の相互交流を推進

③相互交流や本学の学習成果等を海外へ情報発信し、海外の最新技術、トレンド等を情報収集

基本方針(目指す姿)

本学学生や教職員の海外での研修、海外の教育機関からの研究員の受入れ、海外を相手にした情報発信や情報収集を行い、**国際性と自立性を備え、花と緑の産業の中核となって活躍できる人材及び地域社会に貢献できる人材を育成するとともに、本学の国際化を推進する。**

本計画の位置付け

【県】清流の国ぎふ 創生総合戦略

岐阜県国際交流戦略

【農政部】ぎふ農業・農村基本計画

清流の国ぎふ花き振興計画

県立農林系アカデミー農業大学校運営向上プラン

国際園芸アカデミー有識者会議報告書

【本学】国際園芸アカデミー運営計画

国際園芸アカデミー国際交流計画

運営方針と主な推進施策、目標指標

1 海外の教育機関等との連携体制の整備

- ・国際交流事業や教育関係等の情報を収集するため、国際交流関係機関等との連携を強化
- ・フランスやイギリス、カナダ等の教育機関等との連携体制構築に向けた現地調査及び当該予算の確保
- ・相互交流の合意に向け、ヴェルサイユ国立高等造園学校付属研究所所属研究員との連絡・調整を強化
- ・ヴェルサイユ国立高等造園学校を核としたフランスやイギリスでの人的ネットワークを拡大

目標指標	目標値(R8年度)
① 海外の教育機関等調査	毎年1カ国調査(R4年度から)
② 国内教育関係機関等との連絡会議の開催	毎年2回開催(R5年度から)

2 海外の教育機関等との人材育成面での連携

- ・本学学生の体験派遣や本学への研修員受入れを適切に行うため、海外の教育機関等と人材育成に係る合意に向けた調整を推進
- ・合意が得られた機関を核とし、欧米の他の機関との相互交流に係る合意を拡大
- ・合意後は、最適時期、実施内容、人選等を調整し、学生及び教職員等の相互交流を定着
- ・本学への留学生の門戸を広げるため、受験資格の見直しを行うとともに需要に応じた魅力ある教育プログラムを整備

目標指標	目標値(R8年度)
③ 海外の教育機関等との相互交流の合意	2機関と合意
④ 海外の教育機関等との相互交流の定着	派遣と受入れを交互に実施

3 海外を相手にした情報発信と情報収集

- ・海外の教育機関等との相互交流や卒業研究・卒業制作、企業との共同研究等の成果をホームページやSNSを活用して情報発信
- ・英語版ホームページを更新・充実
- ・海外で仕事をしている卒業生や本学を卒業した留学生、国際交流員等による特別講義を開催
- ・外務省やJICA等の国際交流に係る関連事業の活用可能性を調査

目標指標	目標値(R8年度)
⑤ 学修成果のHP等による情報発信	卒業論文等の公表(R4年度から)
⑥ 国際交流員等による特別講義の開催	毎年1回開催(R5年度から)

評価
学校関係者評価委員会

施策推進

目標の達成

改善

資料 11-2 国際交流の実績

実施日	主催・連携先	連 携 内 容	担当者等
7 月 4 日 (木) 10 月 22 日 (火) 3 月 18 日 (火)	岐阜地域留学生交流 推進協議会	・「岐阜地域留学生交流推進協議会」の会議に参加し、県内の教育機関等と情報共有 (7/4, 3/1) ・留学生に関する調査に参加 (10/22)	山本
9 月 2 日 (月)	北京精華大学 (中国)	・中国北京にある精華大学建築学部景観学系の李樹華教授が来校 ・本学との専門交流の可能性を検討したいとのことで、学校概要の説明、施設案内を実施	学長
9 月 8 日 (日) ～ 9 月 17 日 (火)	ヴェルサイユ国立高 等造園学校附属研究 所所属研究員 (フランス)	・今西学長渡仏 ・ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所所属研究員との連携により、フレンヌ農業促進職業訓練センター、ロマン農業促進職業訓練センターを訪問し、技術・人的交流について意見交換を実施	学長
10 月 15 日 (火)	成都農業科学技術職業 学院 (中国)	・成都農業科学技術職業学院関係者来校 ・日中両国の友好交流を促進するとともに、専門分野のレベルを高めるため、園芸・ガーデニングに関わる教員及び学生を対象とした研修プロジェクトを共同で実施することとし、「日中園芸・ガーデニングマスター育成技能研修プロジェクトに関する協定」に調印	学長 副学長
11 月 12 日 (火)	北京精華大学 (中国)	・専門家交流と技術視察として、北京精華大学建築学部景観学系の李樹華教授及び学校関係者や学生、企業など総勢 16 名が来校 ・学校概要の説明やキャンパス内施設を案内 ・参加者からは、留学や短期研修への要望があり、今後の交流が期待される	学長
12 月 17 日 (火)	国際園芸アカデミー	・リトアニア人岐阜県国際交流員を招き、特別講義「リトアニアの魅力：文化と植物」を開催	1 年生 19 人 2 年生 22 人 教職員
1 月 15 日 (水)	国際園芸アカデミー	・「植物ビジネス論」において、本学 OB の田中修一氏 (中国 JIAXING SHUYI GARDEN) による中国の造園ビジネスについての講義	相田、佐藤 2 年生 16 人 1 年生 2 人
3 月 19 日 (水)	ヴェルサイユ国立高 等造園学校附属研究 所所属研究員 (フランス)	・ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所 (LAREP) 所属研究員と情報交換	学長
	国際園芸アカデミー	令和 6 年 4 月から外国人留学生 1 名入学	